

建設業社会貢献活動事例集

平成22年度

生活を守り
まちをささえる
建設業

社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

わが国経済は、世界的な景気低迷による需要の停滞と長期にわたる円高ドル安の下、経済全体が委縮するデフレ傾向が依然として続いていることから自律的な回復軌道には至らず、内需拡大と雇用の安定、地域経済の活性化が喫緊の政策課題となっています。

建設業界は、不動産市況の低迷や民間設備投資の大幅な減少が続く中、公共事業費についても、昨年度は前年度比 18.3%減となる過去最大の大幅な削減が行われ、建設投資総額はピーク時に比べ半分以下にまで落ち込み、また、供給過剰構造の中で慢性的な安値受注競争状態に陥り、その結果、収益性が大幅に悪化し、経営破綻に至るなど負の連鎖が起きています。

このため、地震・台風・豪雨・豪雪等の災害時における応急復旧や突然発生する口蹄疫・鳥インフルエンザ等への防疫活動など、地域住民の安全・安心を守ってきた地域建設業が衰退することにより、この冬の豪雪における除雪活動が遅れる状況となるなど、各地に「災害対応空白地帯」と呼ばれるエリアが出現する事態となっています。

このような状況を踏まえ、本会では、建設産業戦略会議や公共調達適正化研究会等の場を活用し、①社会資本整備に関する中長期的ビジョンとその予算規模の提示、②地方の実情に見合った公共調達制度の改善と地域貢献企業の存続、③技術と経営に優れた企業を存続・発展させるための過剰供給構造のソフトランディング方策とセーフティネットの整備等を提言するとともに、今後、将来の建設産業のあるべき姿を「全建ビジョン」として取りまとめ、会員企業の再生、存続が図られるよう積極的に取り組んでいます。

また、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として、地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会からの理解・認識を醸成するため、本会では、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成22年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本書が地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成23年3月

社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 報告書の概要.....	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について.....	2
(1) 開催趣旨.....	2
(2) 行事の開催.....	2
(3) 功労者表彰.....	12
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —.....	14
3. 1 代表的な活動事例.....	14
(1) 豪雨災害被災地の復旧ボランティア活動 ((社)兵庫県建設業協会) ...	14
(2) 口蹄疫防疫対策への支援活動 ((社)宮崎県建設業協会)	17
(3) お遍路さん休憩所の設置とお接待 (バンドウリメーク(株))	20
3. 2 協会・支部等の活動事例.....	23
(1) 災害復旧支援活動.....	24
(2) 防災支援活動.....	25
(3) 建設業ふれあい活動.....	27
(4) 環境美化活動.....	30
(5) 環境保全活動.....	33
(6) 社会福祉活動.....	34
(7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動.....	37
3. 3 会員企業の活動事例.....	38
(1) 建設業ふれあい活動.....	39
(2) 環境美化活動.....	42
(3) 環境保全活動.....	52
(4) 社会福祉活動.....	54
(5) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動.....	60
参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol.5」(縮小版)...	61

1. 報告書の概要

近年、「企業の社会的責任」(CSR)が企業評価の重要な要素となり、各企業には経済的利益を追求するだけでなく、多様なステークホルダー(利害関係者)に対して、社会貢献、環境、法令遵守等の幅広い分野における社会的価値を重視し、企業の持続的な発展を図ることが必要不可欠となっております。

各都道府県建設業協会・支部・地区協会と各建設企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

また、地域の環境保全のため、河川・道路・森林等の美化活動等に積極的に取り組むとともに、地域の祭りなど各種イベントへの協力、安全パトロール活動等を通じて地域に根ざした様々な取組みを実践し、地域社会に大きく貢献しております。

しかしながら、このような地域建設業界の取組みは、マスコミ等において報道される機会も限られており、また、建設業界も必ずしも積極的にPR活動を行ってこなかったため、国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携を図り、各地において様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

本会では、この月間の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動を広く募集し、全建表彰規程に基づき厳正な審査を経て、優れた活動事例を功労者表彰として顕彰しております。

本書は、平成22年度の中央行事において、受賞された51事例の中から、当日、事例発表を行った(社)宮崎県建設業協会の「口蹄疫防疫対策への支援活動」、(社)兵庫県建設業協会の「台風9号による豪雨災害への復旧支援活動」、徳島県のバンドウリメーク(株)の「お遍路さんお接待と地域の環境美化活動」の3事例を始め、代表的な活動事例を選び、活動内容を整理・分類し、紹介します。

紹介事例は、各都道府県建設業協会・支部等の活動16事例、地方協会会員企業の活動22事例の二つに大別し、さらに、①災害復旧・防災支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等のジャンルごとに整理し、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の取組み等、様々な社会貢献活動の内容を、「平成22年度建設業社会貢献活動事例集」として取りまとめたものです。

また、巻末には、この月間に合わせて作成したリーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 5」(縮小版)を掲載しています。

2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 開催趣旨

地域の建設企業は、良質な社会資本整備の提供はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践しています。しかし、このような取組みは、マスコミ等において報道される機会も少なく、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年7月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールし、公共事業への理解を深める活動を展開するとともに、平成22年度からは、戦略的な広報活動を推進するため、検討会を設置し積極的な検討を開始しています。

平成22年度は、第5回目の「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を7月27日に東京・経団連会館において開催し、また、各都道府県建設業協会・支部、地区協会においても、災害復旧支援活動、環境美化活動等の各種イベントや社会奉仕活動等が実施されましたので、その活動内容をアンケート結果に基づき紹介します。

(2) 行事の開催

平成22年度「建設業社会貢献活動推進月間」において、本会並びに都道府県建設業協会の開催した行事、実施した活動は次のとおりです。

○(社)全国建設業協会の中央行事

行事名	平成22年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成22年7月27日(火) 14:00~19:00
場所	経団連会館4階ダイヤモンドルーム
内容	(1) 開会 ・ 会長挨拶 (社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 ・ 来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 小澤 敬市 氏 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ① 規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(22協会・支部) ② 規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(29社) (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ① 「口蹄疫防疫対策への支援活動」=(社)宮崎県建設業協会 ② 「台風9号豪雨災害への復旧支援活動」=(社)兵庫県建設業協会 ③ 「お遍路さんお接待と地域の環境美化活動」=バンドウリメイク(株)(徳島) (4) 記念講演会 『写真から見た土木の魅力について』 講師: JUNKO KOSHINO (株)代表取締役・写真家 鈴木 弘之先生
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関連団体及び一般関係者)

○都道府県建設業協会・支部、地区協会の開催した活動内容

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
北海道	高校生の建設工事現場見学会（札幌建設業協会）	7月21日、 9月10日	札幌市道営住宅改善工事・当別町橋梁・ダム建設現場	業界8人、生徒他 153人
	交通安全街頭啓発（札幌建設業協会）	6月28日、 10月25日	札幌駅前交差点	業界51人
	高校生の建設工事現場実習（函館建設業協会）	7月7日～ 9日	函館市内近郊の建設関連企業及び作業現場	業界41社、生徒79 人
	平成22年度道路クリーン作戦（小樽建設協会）	5月14日	小樽市・余市町・共和町・黒松内町・倶知安町	業界310人、自治体60人
	小樽建設管理部危機管理演習（小樽建設協会）	10月7日	積丹郡積丹町大字 美国	業界15人、自治体 3人
	クリーンアップ日本海（留萌建設協会）	5月28日	留萌市海岸	業界130人、一般 220人、自治体400 人
	『パトライト運動』の出動式（釧路建設協会）	7月27日	釧路建設会館及び同駐車場	業界18人、自治体 2人
	開発建設部危機管理演習（釧路建設協会）	6月15日	釧路合同庁舎、釧路建設会館、会員・賛助会員会社	業界100人、自治体90人
	大規模津波防災総合訓練（釧路建設協会）	10月16日	釧路市西港	業界150人、一般・自治体10,000人
	第21回まちづくりジュニア現地学習会（帯広建設業協会）	10月29日	一般国道274号士幌町東改良工事ほか	業界14人、一般 134人
	帯広市社会福祉協議会等への寄付（帯広建設業協会）	6月15日	帯広市社会福祉協議会	業界2人、一般2 人
	建築現場見学会（帯広建設業協会）	9月29日	帯広市立豊成小学校校舎改築主体工事ほか	業界7人、一般76 人
	建設現場見学会（帯広建設業協会）	10月13日	美蔓農業水利事業美蔓貯水池建設工事ほか	業界7人、一般83 人
	エコキャップ運動（網走建設業協会）	平成20年度から		業界152人
リングプル収集活動（網走建設業協会）	平成18年度から		業界152人	
青森県	「全国建設青年の日」県内統一事業～事業所・施工現場周辺の一斉清掃～（東・西地方、中弘・南黒、北五、上北、下北、三八支部）	7月28日	県内一円	業界1,684人（8支部）
宮城県	献血推進活動（仙南支部）	平成22年度は23回	仙南支部他	903人
	広瀬川クリーンキャンペーン2010（青年会）	7月28日	広瀬川澱橋付近の河川敷	業界92人、自治体・一般29人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
福島県	道路ふれあい月間 清掃奉仕作業 (16支部)	8月1日～ 31日	県内全域	業界2,409人
茨城県	建設フェスタ2010開催	10月24日	ひたちなか市	業界100人、一般 12,000人、自治体 100人
	献血活動・骨髄バンク登録(各支 部)	4月1日～ 12月15日	各支部	業界・一般500人
栃木県	こども110番、防犯活動(鹿沼支 部・下都賀支部)	12月22日		会員会社、警察署
	建設業ふれあい事業(芳賀支部)	2月27日	栃木二宮線大道泉 橋	業界・一般300人
	「やいた・ともないまつり」に参 加(塩谷支部)	11月3日	矢板市役所敷地内	
	クリーンアップ活動(宇都宮・日 光・塩谷・那須支部)	3月26日～ 11月20日	県内一円	業界495人
埼玉県	新河岸川放水路・びん沼環境浄化 運動・道路清掃活動(川越支部)	6月27日、 9月28日	富士見市南畑地 内・所沢市内	業界108人・一般 549人
	たたら祭り展示コーナーへの展示 (さいたま支部)	8月7日・8 日	川口市青木	業界・一般1,200 人
	道路環境清掃美化活動(北埼玉支部)	12月17日	羽生市内国道122 号線	業界20人
千葉県	海岸清掃活動(千葉、鴨川支部)	7月10日・ 12日	千葉市いなげの 浜・鴨川市前原横 渚海岸	業界・一般619人
	建設機械体験学習会(本部青年会、 北総支部青年部会)	6月24日、 7月9日	山武市立鳴浜小学 校、成田市立久住 第一小学校	業界50人、児童 230人
東京	まちづくり展「東京をつくる・ま もる・建設業」	9月21日～ 23日	新宿駅西口広場イ ベントコーナー	業界2,400人、一 般9,600人
	平成22年度防災展	8月17日～ 19日	新宿駅西口広場イ ベントコーナー	業界・一般30,000 人
神奈川県	清掃活動(藤沢・伊勢原・県央・ 川崎支部)	7月24日、 8月2日、 10月13日、 11月6日・ 27日	片瀬江ノ島海岸、 伊勢原市内小鮎 川、藤沢駅周辺、 多摩川河川敷	業界・自治体267 人
	総合防災訓練(茅ヶ崎・伊勢原支 部)	8月22日・ 29日、12月 3日	茅ヶ崎市立松林中 学校、伊勢原市中 沢中学校、伊勢原 市内15か所	業界・自治体295 人
	安全パトロール(県央・伊勢原支 部)	8月10日、 12月24日	各地区県管理道 路・河川等、伊勢 原市内	業界79人
新潟県	クリーン作戦(村上支部)	9月4日	村上管内国道	会員65人
	土木の日記念フェスティバル パ ネル展示、クイズ(新発田支部)	11月23日		業界・一般12,000 人
	能代川「川下り」(新津支部)	9月4日	能代川	業界・一般30人
	土木の日体験学習、ダム見学、重 機試乗(新津支部)	9月4日		業界・小学生50 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	能代川水辺りんりんロードを走る 駅伝大会（新津支部）	11月13日	能代川水辺	業界・小学生150 人
	つがわ狐の嫁入り行列 水上ステ ージ設置協力（津川支部）	5月2日～ 4日		会員・一般53,000 人
	クリーン作戦（巻支部）	11月3日		業界・会員170人
	環境フェスタ2010 ゴミゼロウォ ーキング（三条支部）	10月2日	下田体育館周辺	業界・会員205人
	土木フェスティバル 試乗、現場 見学会等（長岡支部）	10月3日		業界・会員・一般 15,010人
	親しもう！ふれ合おう！建設業！ （与板支部）	11月3日		会員13人一般多 数
	土木フェア パネル展示、除雪車 等の重機体験（魚沼支部）	10月23日		会員・一般2,015 人
	環境美化活動（魚沼支部）	通年		
	「土木の日 ふれあい・体験パー ク・とおかまち（十日町支部）	10月23日 ～24日		業界・一般19,400 人
	十日町雪まつり 舞台製作（十日 町支部）	2月19日～ 21日		業界550人
	大相撲 雪国・南魚沼場所開催協 力（六日町支部）	8月6日		会員・一般1,317 人
	AED贈呈・救急救命講習会（六 日町支部）	9月27日・ 30日		
	八色の森市民まつり「土木フェア」 重機体験・パネル展示（六日町支 部）	10月10日		会員・一般25,017 人
	歩くスキーフェスティバル コー ス整備（六日町支部）	2月14日		
	新潟から世界へ ジュニアスキー 選手育成支援（六日町支部）			選手334人
	海岸清掃（柏崎支部）	6月25日	柏崎市内東の輪海 水浴場	業界400人
	ドンGALA！祭り ステージ設 置等（柏崎支部）	7月26日		会員50人
	ぎおん柏崎まつり「海の大花火大 会（柏崎支部）	7月26日		
	うらがわらまつり参加（安塚支部）	8月7日		業界・一般2,000 人
	牧っこ秋まつり参加（安塚支部）	11月3日		会員5人
	万内川砂防公園フェスティバル参 加（安塚支部）	8月14日		業界・一般2,000 人
	海岸清掃（糸魚川支部）	7月16日	糸魚川・大和川	会員・業界51人
	日本海クラシックカーレビュー 交通安全の呼びかけ（糸魚川支部）	9月4日～ 5日	糸魚川市内	会員・一般30,014 人
	緑の百年物語10周年記念事業in糸 魚川（糸魚川支部）	9月30日		会員他66人
	わたしたちのくらしと土木の働き 建設業とくらしについての勉強 会、重機体験（糸魚川支部）	11月9日		小学生31人
	一日美化デー（佐渡支部）	7月28日	両津地区海水浴場	会員他53人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	2010佐渡国際トライアスロン大会 コース誘導（佐渡支部）	9月4日		
	佐渡トキマラソン大会 コース誘導（佐渡支部）	4月11日		
長野県	高校生の丁張実習技能指導・企業研修（上小支部）	5月10日、 10月20日	丸子修学館高校	業界・先生・生徒 62人
	第15回建設旗争奪「上小中学校一年生野球大会（上小支部）	10月31日、 11月3日	上小地区	業界・生徒・父兄 489人
	清掃活動（諏訪支部）	4月22日、 6月26日、 8月20日、 10月20日	茅野市内、諏訪湖岸	業界126人
	献血活動（諏訪支部）	6月10日・ 15日・17日	赤十字血液センター諏訪出張所	業界32人
	清掃活動（伊那支部）	6月15日	上伊那管内全域 290km	業界・自治体401人
	献血活動（飯田支部）	6月30日、 11月9日	飯田建設会館他	業界・一般174人
	国道清掃活動（木曾支部）	10月29日	国道256・361号線	業界・道路管理者 23人
	献血活動（松筑支部）	5月21日、 11月12日	松筑建設会館	業界・一般203人
	清掃活動（松筑支部）	8月3日	松本市芳川付近	業界・自治体71人
	清掃活動（安曇野支部）	7月7日	県道豊科大天井岳線	業界・自治体48人
	清掃活動（大北支部）	7月9日、 9月3日	国道148号線、乳川	業界・自治体98人
	植栽活動（更埴支部）	5月15日、 10月9日	大池市民の森	業界14人
	清掃活動（須坂支部）	4月23日	管内主要道路（国道406号線）	業界・自治体22人
	献血活動（長野支部）	4月2日、 10月12日	長水建設会館	業界147人
	ゴミゼロ活動（長野支部）	5月26日、 6月24日、 10月12日	裾花川、支部管内道路25か所	業界66人
	第5回けんせつ杯中学生軟式野球大会（長野支部）	10月9日～ 11日	長野市内の4会場	業界・一般714人
	信州ふるさとの道ふれあい事業 清掃・植栽活動（中高支部）	6月12日・ 19日・20日 11月5日・6日・20日	中野市七瀬	業界・一般・自治体341人
	平成22年度フラワーロード事業（飯山支部）	6月7日・28日、 7月26日、 8月9日	国道117号線	業界・一般・自治体1,500人
静岡県	献血活動（沼津建設業協会）	1月15日、 7月8日	沼津市役所・沼津建設業協会	業界・自治体・一般127人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	親子現場見学会（沼津建設業協会）	8月4日	御殿場JCT～沼津SA間の工事現場・「愛鷹公園」	業界・一般88人
	河川・道路清掃活動（富士建設業協会）	7月21日、8月11日	富士市富士宮地区	業界・147人
	河川・道路清掃活動（静岡建設業協会）	6月18日、7月23日	巴川・JR東静岡駅周辺	業界・自治体2,000人
	親子現場見学会（静岡建設業協会）	7月24日	静岡市上伊佐布第二東名高架工事現場・朝霧高原まかいの牧場	業界・一般50人
	河川・道路清掃活動（浜松建設業協会）	8月6日	浜松市内3河川・細江浜北線	業界90人
	道路清掃活動（島田建設業協会）	5月26日、7月17日～8月31日	静岡空港線・島田建設業協会管内の県・市・町道	業界468人
	親子現場見学会（島田建設業協会）	8月6日	静岡市ケーソン製作現場・日本平動物園	業界・一般53人
	道路清掃活動（下田建設業協会）	8月27日	下田市の主要幹線道路	業界142人
	道路清掃活動（天竜建設業協会）	7月27日、8月25日	水窪・天竜・龍山・春野・佐久間地区	業界57人
	親子現場見学会（天竜建設業協会）	8月7日	磐田市駒場、竜洋海洋公園、牧野原市坂口、富士山静岡空港	業界・一般27人
	道路清掃活動（清水建設業協会）	7月28日	静岡市清水区	業界70人
	親子現場見学会（清水建設業協会）	8月20日	清水港、LNG基地	業界・一般38人
	地域あんしん住まい応援隊（清水建設業協会）	9月15日	静岡市清水区	業界20人
	親子現場見学会（三島建設業協会）	8月21日	山梨県 葛野川ダム・リニア見学センター	業界・一般93人
	道路清掃活動（袋井建設業協会）	7月23日～31日、6月29日～8月26日	袋井建設業協会管内	業界514人
	親子現場見学会（袋井建設業協会）	8月24日	浜松市新東名浜北橋、春華堂うなぎファクトリー工場	業界・一般42人
愛知県	名古屋打ち水大作戦IN名古屋広小路夏祭りへの参加	8月21日	名古屋市中区	業界・自治体・一般250人
	生物多様性を理解するシンポジウムの開催	10月23日	名古屋市中区	業界・自治体・一般420人
三重県	道路清掃活動（鈴鹿支部）	6月11日、9月3日、11月5日	鈴鹿環状線	業界32人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	土のう作成と保管場所一斉点検作業（鈴鹿支部）	6月30日	鈴鹿市ハンター弁天山公園	業界・自治体100人
	第14回すずかフェスティバル出展参加（鈴鹿支部）	8月1日	鈴鹿市防災センター	業界・一般3,000人
	道路清掃活動（亀山支部）	7月30日、9月29日、12月17日	亀山市内県道等	業界33人
	道路清掃活動（四日市支部）	8月25日、9月1日	四日市他	業界116人
	河川清掃活動（桑員支部）	7月23日	員弁川堤防・河川敷	業界・自治体280人
	海岸・道路清掃活動（尾鷲市建設業協会）	8月4日	尾鷲市漁港・茶地岡向井線	業界33人
	道路清掃活動（紀北町建設業協会海山支部）	7月17日	県道他	業界26人
	「きほく七夕物語」に協力（尾鷲支部青年部）	7月3日・4日	銚子川河川敷	業界・一般50人
	河川清掃活動（紀北町紀伊長島区建設業協会）	6月8日	赤羽川河川敷	業界35人
	道路清掃活動（伊賀支部）	9月24日	伊賀市・名張市	業界92人
	道路清掃活動（志摩支部）	9月25日、11月20日	地区内国道	業界46人
	河川清掃活動（伊勢支部）	12月10日	五十鈴川	業界・自治体120人
	道路清掃活動（一志支部）	7月14日、10月27日	県道他	業界34人
	愛宕川・神通川を美しくする会活動（松阪支部）	9月5日	愛宕川・神通川	業界・自治体3,000人
	氏郷まつりへの参加（松阪支部）	11月3日	松阪市内	業界10人
富山県	全国建設青年の日事業	7月17日～8月8日	県内一円	業界・自治体・一般582人
石川県	「建設青年の日」子供たちとの建設ふれあい活動	9月5日	金沢市立長坂台小学校	業界・一般300人
	防犯活動・環境保全活動（金沢建設業協会）	4月14日、10月26日	金沢市内一円・柿木畠ポケットパーク	業界・一般・自治体130人
	保育園児との建設ふれあい活動（加賀建設業協会）	5月28日	加賀市河南町新生保育園	業界・一般130人
	地域活性化の施策提言（加賀建設業協会）	11月24日	加賀市民会館	業界・自治体46人
	標高差2702mのクリーン大作戦（白山・石川建設業協会）	5月30日～8月10日	松任徳光海岸、管内道路、白山	業界・自治体・一般443人
	献血活動（珠洲建設業協会）	6月29日	珠洲建設業協会	業界119人
	小学生の見た建設の絵 募集・展示（羽咋郡市建設業協会）	7月21日～11月12日	羽咋市他	
	道路クリーン作戦（河北郡市土建協同組合）	8月6日		業界・自治体82人
	献血活動（小松能美建設業協会）	11月17日	小松市内	業界・一般150人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	大型除雪車体験講習会（小松能美建設業協会）	11月17日	南加賀土木総合事務所	業界・一般・自治体90人
	清掃活動（小松能美建設業協会）	3月28日、9月18日	小松市内・河川・梯川	業界・一般・自治体2,800人
	能登万葉の里マラソンボランティア活動（七尾鹿島建設業協会）	2月23日	能登万葉の里マラソン周回コース	業界35人
	清掃活動（七尾鹿島建設業協会）	8月10日、9月8日	七尾地区道路、七尾城山展望台	業界116人
福井県	清掃活動（福井地区建設業会）	6月～8月	足羽川・九頭竜川・一乗谷朝倉遺跡・鷹巣海水場	業界321人
	道守活動（坂井郡建設業協会）	9月17日	坂井地区	業界・自治体145人
	清掃活動（若狭地区建設業協会）	11月17日	小浜市	業界60人
滋賀県	交通遺児支援活動	12月22日	大津市	
	平成22年度「環境美化の日」	12月1日	大津市びわ湖岸一帯	業界・自治体・一般420人
	公共残土管理地清掃活動（伊香支部）	10月20日	木之本町飯浦船留り、木之町田部	業界・一般22人
	平成22年度「びわこの日」清掃活動（彦根支部）	6月27日	彦根市矢倉川河口および右岸	業界・一般1,300人
	大津市琵琶湖を美しくする会運動一斉清掃（大津支部）	6月27日	大津市全域	業界・一般68,925人
	海岸清掃活動（大津支部）	7月17日	「なぎさ公園」、 「琵琶湖サンシャインビーチ」	業界29人
	東近江市大凧祭りへの協力（東近江支部）	4月19日	東近江市愛知川河川敷	業界30人
	道路清掃（高島支部）	8月18日	高島市今津川町保坂～杉山	業界・自治体・一般58人
	東近江市防災訓練への参加（高島支部）	8月29日	東近江市永源寺運動公園	業界15人
	東近江市管内の施設への遊具寄付・小学校への植樹（高島支部）	10月28日、12月23日	市内幼稚園・小学校	業界28人
	環境美化活動（甲賀支部）	9月3日	野津川河川敷	業界77人
	びわ湖清掃活動（長浜支部）	10月14日	びわ湖岸	業界65人
	大規模地震発生時における応急救援活動訓練（湖南支部）	12月6日	守山市木浜町	業界・自治体87人
京都府	親子で学ぶ京都の建設・土木	11月13日	宮津野田川道路・地蔵トンネル・大師山トンネル	業界・一般185人
兵庫県	地域安全まちづくり活動の推進	通年	県下各地域	本部・支部会員530社、登録台数1,011台
	平成22年度全県一斉奉仕作業	4月1日～8月24日	県下各地域	業界1,832人
	第4回建設ふれあいまつり	7月24日	建設会館	業界・一般500人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	全国建設青年の日「夏休み子ども工作教室」の開催（淡路支部）	8月7日	洲本商工会議所	業界・一般33人
	第35回にしのみや市民祭りブース出展（西宮支部）	8月21日	西宮市役所周辺	一般40,000人
鳥取県	平成22年度河川愛護月間河川清掃（中部・西部・日野支部）	7月24日・31日、8月30日	絵下谷川・東山川・旧加茂川・日野川	業界・自治体390人
	「ボランティア・ロード砂丘」（東部支部）	12月3日	鳥取市南隈	業界・自治体19人
岡山県	道路ふれあい月間清掃活動（津山支部）	8月22日	津山市内	団体・自治体・一般1,600人
	年末・年始、お盆の会員駐車場の無料開放（津山支部）	12月28日～1月3日、8月12日～15日	津山市内	24か所、277台
山口県	河川等清掃活動（大島・柳井・玖珂・周南・防府・山口・宇部・下関・豊田・美祢・長門・萩支部）	6月1日～12月15日	各支部の河川、道路、公共施設等	12支部、379社、997人
徳島県	四国遍路みち清掃活動	10月17日～18日	四国88か所24寺	業界・自治体606人
福岡県	平成22年度献血活動	11月1日～12月28日	福岡市、北九州市、久留米市	業界374人
	緊急災害用品等の備蓄	11月上旬	会員事業所	会員118社
	「鶴舞公園」一斉清掃活動	11月20日	福岡市鶴舞公園	業界・一般402人
佐賀	第4回津の里こどもまつり（小城建設業協会）	2月21日	牛津保健福祉センター	業界20人
	環境美化・保全活動（小城建設業協会）	4月26日	小城町須賀神社周辺	業界33人
	小城清水の滝 竹灯り2010への協力（小城建設業協会）	11月11日	小城清水	業界24人
	清掃活動（鳥栖建設業協会）	4月3日	地区内公園等	業界18人
	保育園の芝生の広場造り（青年部）	6月5日	日新保育園	業界・一般100人
	幼稚園及び保育園の「砂場クリーン作戦」（青年部）	11月6日	神埼駅以北及び吉野ヶ里駅周辺	業界・一般150人
	ラブアースクリーンアップ2010への参加（唐津建設業協会）	6月6日	唐津市内の海岸	業界・一般7,778人
	清掃活動、除草作業（藤津建設業協会）	7月6日・22日、8月2日	白浜海水浴場、塩田川遊歩道、御神松線	業界64人
	清掃活動（杵島建設業協会）	7月22日	大町一円	業界26人
	献血活動（杵島建設業協会）	10月15日	杵島建設業協会	業界101人
	伊万里・西浦地区建設関係測量競技会（伊万里建設業協会）	8月20日	国見台運動公園	業界・一般・自治体87人
	土木の日記念事業「サクラの木」植樹（伊万里建設業協会）	11月18日	井手口ダム周辺	業界・一般・自治体40人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
長崎県	ボランティア長崎in本明川（諫早支部）	10月31日、11月9日	本明川	業界・自治体・一般375人
	土木の日「親子ふれあい体験」イベント開催（佐世保支部）	11月7日	佐世保市島瀬公園	業界・一般3,000人
	土木の日イベント開催（対馬支部）	11月14日	清水ヶ丘グラウンド、巖原町体育館	業界・自治体・一般740人
	土木の日建設現場見学会（下五島青年部）	11月20日	五島市玉之浦町井持浦	業界・自治体・一般38人
	土木の日イベント開催（上五島青年部）	11月21日	上五島町石油備蓄記念館	業界・自治体・一般950人
	土木の日イベント開催（大村支部）	11月28日	シーハット大村さくらホール駐車場	業界・自治体・一般多数
	土木の日イベント開催（北部支部）	11月28日	田平公園運動広場	業界・自治体・一般多数
熊本県	環境美化・保全活動、家屋修理ボランティア、防災訓練	4月23日～11月11日	県内一円	業界・一般1,800人
大分県	津波対策用海拔ステッカー貼付事業（佐伯支部）	5月29日～31日、6月12日～15日	佐伯市沿岸部4,000か所	佐伯支部会員
鹿児島県	口蹄疫まん延防止の協力	4月～8月	宮崎県に隣接する市町村	各支部
	奄美地方における集中豪雨災害の応急対策の協力	10月20日	奄美地方	支部会員
	霧島市の県道崩落による救助活動	7月3日	県道2号線国分重久地内	加治木支部、(株)新町組、吉村工業(株)

※本会が実施したアンケート調査の回答をもとに取りまとめています。

(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（22 団体）及び会員企業（29 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(社)兵庫県建設業協会 (社)岡山県建設業協会 美作支部	兵庫県 岡山県
防災支援活動	(社)三重県建設業協会 鈴鹿支部 (社)奈良県建設業協会 桜井支部	三重県 奈良県
建設業ふれあい活動	(社)新潟県建設業協会 新津支部 (社)浜松建設業協会 (社)天竜建設業協会	新潟県 静岡県 静岡県
環境美化活動	(社)宮城県建設業協会 大崎支部 (社)福島県建設業協会 須賀川支部 (社)山口県建設業協会 長門支部	宮城県 福島県 山口県
環境保全活動	(社)伊万里建設業協会	佐賀県
防疫活動	(社)宮崎県建設業協会 高鍋地区建設業協会 小林地区建設業協会 西都地区建設業協会 宮崎地区建設業協会 日向地区建設業協会 東諸地区建設業協会	宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県
社会福祉活動	(社)栃木県建設業協会 下都賀支部 (社)京都府建設業協会 京都支部 (社)熊本県建設業協会 荒尾支部	栃木県 京都府 熊本県
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	(社)群馬県建設業協会	群馬県

○功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
建設業ふれあい活動	(株)石山組 東星渡部建設(株) バンドウリメイク(株) 林建設(株)	北海道 北海道 徳島県 鹿児島県
環境美化活動	(株)宮原組 福中建設(株) 齋勝建設(株) (株)小田島組 (株)佐々木建設 (株)米村組 (株)中島建設 吉川建設(株) 小笠原マル昇(株) 住田建設(株) (株)松尾工務店 (株)神和商事 (株)小池組 岩水開発(株) 藤田興業(株) (株)ヤマシタ	北海道 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 神奈川県 長野県 静岡県 愛知県 福井県 兵庫県 和歌山県 岡山県 岡山県 鹿児島県
環境保全活動	(株)菅与組 角文(株)	秋田県 愛知県
社会福祉活動	(株)早水組 (株)佐々貞土建 日栄建設(株) 藤城建設(株) 福井建設(株) (株)大興建設	北海道 宮城県 神奈川県 愛知県 兵庫県 沖縄県
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	(株)柄谷工務店	兵庫県

3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 22 年度に顕彰した活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 3 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部・企業名等	活動内容
A1-01	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会	豪雨災害被災地の復旧ボランティア活動
A6-01	宮崎県	(社)宮崎県建設業協会	口蹄疫防疫対策への支援活動
B1-03	徳島県	バンドウリメイク(株)	お遍路さん休憩所の設置とお接待

(1) 豪雨災害被災地の復旧ボランティア活動 ((社)兵庫県建設業協会)

事例 A1-01 : 兵庫県

豪雨災害被災地の復旧ボランティア活動 ((社)兵庫県建設業協会)

平成 21 年 8 月 9 日、台風 9 号により発達した雨雲は、兵庫県西北部に記録的な豪雨をもたらし、各地で 8 月としては過去最大の降水量を記録した。中でも、被害が集中した西播磨地域の佐用町では、最大 24 時間雨量がそれまでの記録の 2 倍近い 327 ミリに達し、中心部を流れる佐用川が一気に氾濫した。

この集中豪雨により、兵庫県内では、死者 20 人、行方不明 2 人、家屋の全半壊 1,095 戸など、大きな被害が発生した。

県管理の施設では、河川や砂防河川の護岸崩壊等が 520 ヶ所、道路の法面崩壊や橋梁の一部損壊等が 140 ヶ所に上り、市町管理を加えると、被害は 1,200 ヶ所に及んだ。山腹の崩壊や、溪流からの土砂の流出、流木による橋梁部閉塞などが被害を拡大させたと考えられている。



佐用町役場の浸水被害



佐用川の氾濫による被害



流木による橋梁部閉塞

兵庫県建設業協会姫路支部は、集中豪雨が去った10日の朝、佐用町、宍粟市を管轄する県の土木事務所に、「要請があれば直ちに出動できる準備を整えている」旨を伝え、兵庫県と締結している「災害時における応急対策業務に関する協定書」に基づく待機態勢を整えた。しかし、土木事務所も混乱する中で、道路復旧と孤立集落の解消に全力を注いでおり、河川から道路や農地などに流出・堆積した土砂や流木、ゴミの撤去には手がつけられない状態であった。

結局、土木事務所は「協定に基づく応援要請はしない」と結論づけ、その旨の連絡があったため、姫路支部では、会員企業の待機態勢を一旦解除することにした。

ところが、待機解除の連絡が完了した12日夕方、この日現地を視察した県知事から協会本部に直接電話が入り、「被災地に溢れかえっているゴミや土砂、流木の撤去作業に、協会としてボランティアで取り組んでもらえないか」との要請を受けた。

盆休みに入る前日の要請であり、人員の確保が心配されたが、役員会で協議する時間がなかったため、協会長の判断で知事の要請を受け入れ、協会挙げて復旧活動に取り組むことを決定し、各支部に連絡した。

被災地を抱える姫路支部では、待機解除から一転して再度要員を確保して日程調整を開始し、その他の支部は、2日後の14日から、お盆休みを返上して順次出動することにした。当初は、佐用町や宍粟市が大混乱状態で、現地の指揮命令系統が確立しておらず、待たされるばかりといった状態もあったが、徐々に改善され、ゴミの撤去作業などを効率的に進めることができるようになった。



流木や土砂の流出



流木や土砂の撤去

同協会によるボランティア活動は、9月1日までの23日間に及び、姫路支部を中心に、県下全域の支部から190社の会員企業が延べ1,300人近い作業員を動員し、4,000トン近いゴミの撤去作業を行った。

この活動は、知事からの直接の要請とはいえ、「災害時における応急対策業務そのもので、本来の協定書に基づいた活動と位置付けるべきだ」との意見も協会内部には根強くあった。しかしながら、協会執行部では、「こうした活動に取り組むことが我々の使命であり、地元の人々を元気づけるためにも積極的に協力すべきだ」との意見が大勢を占めた。そこで、協会として、この復旧支援活動はボランティア活動と位置付け、各支部及び会員企業の了解を得た。

同協会の貢献に対して、後日、兵庫県及び佐用町、宍粟市から感謝状が贈られ、地元の人々からも感謝の声が多く寄せられた。

兵庫県建設業協会からのボランティア出動実績

区分	宍粟市	佐用町	合計
建設機械等	42台	198台	240台
搬送車両（トラック）	74台	398台	472台
会員企業数（延べ）	47社	324社	371社
会員企業数（実質）	22社	168社	190社
作業人員（延べ）	199人	1,085人	1,284人
撤去土砂等	592t	3,184t	3,776t



歩道の土砂撤去



道路上の流木撤去



道路や農地のゴミ撤去



撤去した流木・ゴミの搬出

口蹄疫防疫対策への支援活動 ((社)宮崎県建設業協会)

平成 22 年 4 月、宮崎県内各地区の建設業協会では、年次総会開催に向けて、事業報告や予算審議、任期満了に伴う役員選任等に神経を集中させていた。そうした中で、4 月 20 日、宮崎県都農町で口蹄疫の発症が確認され、新聞等で大々的に報じられた。口蹄疫は、その後、都農町から川南町へと広がり、4 月 28 日には、えびの市に飛び火するなど、5 月 5 日までに 23 例を数えるに至った。

■防疫対策への協力体制

連休明けの 5 月 6 日、宮崎県建設業協会は、新地区建設業協会会長会議を開催した。その席上で、新会長に就任した高鍋地区協会長、小林地区協会長から、「口蹄疫が爆発的に拡散しており、地区協会員は、昼夜を分かたず殺処分された牛・豚の埋却作業に追われている。」「重機のオペレーターは、ローテーションを組んで埋却作業に当たっているが、家畜の断末魔の鳴き声や屍を目の当たりにしながらの作業で、食べ物も喉を通らない状態となり、一人が担当できるのは 2~3 日が限度である。」との報告がなされた。

口蹄疫に対しては、従来からの災害対応とは異なる対応が必要となることを確認するとともに、その防疫対策については、次のような問題点が挙げられた。

①重機の提供、オペレーターの作業等がたいへんな状況になっており、既にボランティア活動の域を超えている。

②重機や鉄板の運搬、埋却作業において指示命令系統が輻輳しており、現場で混乱が生じている。

①については、県に会計支援チームが発足するとともに、5 月 7 日付けで、口蹄疫防疫対策本部長（宮崎県知事）から協会長に対し、防疫対策への協力要請が正式に書面でなされた。これを受け、協会として県との防災協定に基づく組織体制で対応することを決定し、各地区協会に対して出動要請を行った。

②については、協会長と専務理事がその日のうちに口蹄疫防疫対策本部等へ出向き、指示命令系統の早急な一本化を要請した。その結果、県の対策本部から現地対策本部への流れが一本化され、情報交換がスムーズとなった。各地の殺処分の情報が速やかに伝わることで、床掘り、埋却作業が円滑に行えるようになった。



家畜の埋却穴の床掘り



埋却作業

■口蹄疫の爆発的拡散と埋却作業

口蹄疫は、その後も隣接する市町に広がり、6月9日には国内有数の畜産基地である都城市へ飛び火した。さらに、6月10日には日向市、宮崎市へ、16日には国富町へと、同時多発的に口蹄疫が拡散し、各市町では毎日殺処分と埋却作業が行われる状況となってきた。

この間、各地区協会の会員企業は、数百ヶ所に及ぶ埋却穴の床掘りと、殺処分された家畜の運搬、埋却、消毒剤散布、埋戻し作業に追われた。この埋却作業に従事した作業員は延べ4,600人、投入した建設重機・車両は5,300台に上った。また、消毒ポイントでの通行車両の消毒作業には、24時間体制（3交代制）で延べ6,700人が従事した。

口蹄疫防疫対策の人員・資機材数（4/20～6/30）

埋却処分作業		目隠し囲い作業		消毒作業	
作業員	4,597人	作業員	138人	作業員	6,696人
バックホウ	2,722台	バックホウ	75台	作業車	1,194台
ダンプ・タイヤショベル・ユニットラック等	2,573台	単管(2m)	30台	発電機	1,005台
発電機	1,022台	単管(1m)	30台	動噴	128台
水中ポンプ	555台			照明器具	1,194台
照明器具	353台			マット	124枚
覆鋼板	27,420枚			ポリタンク	1,625個



家畜の埋却、消毒作業

口蹄疫の発症は、7月4日宮崎市での292例目を最後に終息したが、その間に処分された牛・豚等の数は約29万頭（県全体の24%）に達した。

■防疫対策の問題点

今回の防疫対策では、次のような問題点が指摘された。

①殺処分・埋却作業の遅れの問題

大量の家畜を短期間で殺処分するためには、獣医師の絶対数が不足しており、埋却用の重機も不足していた。また、殺処分された家畜の埋却地選定に際して、農家や近隣の同意がなかなか得られなかった。同意が得られて床掘りを始めても、途中で水が湧けば環境上使うことができず、場所の選定からやり直すことになった。

②埋却作業に従事したオペレーターの心の問題

目の前で殺処分され横たわった家畜を1頭1頭運搬し、床掘りした穴に順番に並べ、消毒剤を散布して埋め戻すまでの一連の作業は、連続2日以上は従事できない精神的に過酷な作業であった。

このような状況下で、オペレーターが受けた心の傷は計り知れない。今後のメンタル面のケアが大きな課題となっており、保健所との連携を強化していく必要がある。



埋却後の消毒作業

■風評被害の問題

口蹄疫が発症したことで、宮崎への観光旅行のキャンセルが相次ぎ、各地で予定されていたイベントは、移動制限によってことごとく中止となった。また、宮崎県の人が県外で営業活動を行ったり、移動する場合、宮崎ナンバーの車に対する圧力が厳しいため、やむを得ず鹿児島ナンバーを取得してから出向くといった話も聞かれた。

観光・商工業等すべての業界が風評被害にあえいでいる状態であり、復興支援対策が急務となっている。

■建設業の果たす役割

宮崎県は、畜産産出総額が1,800億円（平成18年）、このうち牛・豚だけで1,200億円の実績を誇る全国有数の食料供給基地である。今回の口蹄疫の発症で、県内の24%にあたる牛・豚を殺処分せざるを得なかったことは、県の産業にとって大きな打撃となる非常に残念な出来事であった。

その中で、地域の経済と雇用を営々と守り続けてきた建設業は、県民の安全・



埋戻し作業

安心を守る観点から、口蹄疫という目に見えないウイルスとの戦いで一致団結し、台風や地震災害以上の危機意識を持って防疫作業に従事した。結果として、被害を宮崎県内のみで留めることができたことは、建設業界の地域での役割を、県民に再認識してもらうきっかけとなった。

また、今回の防疫作業には、畜産農家はもとより、県・市・町の行政職員も多数参加していたが、建設業のオペレーターが行う床掘り作業の正確さには驚きの様子であり、あらためて建設業への信頼感を高める結果となった。

(3) お遍路さん休憩所の設置とお接待 (バンドウリメイク(株))

事例 B1-03 : 徳島県

お遍路さん休憩所の設置とお接待 (バンドウリメイク(株))

団塊の世代のリタイアに伴い、四国では「お遍路さん」の数が年々増加しており、最近では若者や外国人も加わって、お遍路道は大勢の人々で賑わっている。

バンドウリメイク(株)がある徳島市入田町は、第12番札所「焼山寺(しょうさんじ)」と第13番「大日寺」の間に位置している。阿波路は「発心の道場」と言われ、第11番「藤井寺」から第12番「焼山寺」の間は、高低差800mを一気に上る通称「遍路ころがし」として名高い難所である。やっとの思いで「焼山寺」に着いたら、次は「大日寺」まで約30kmの長い下り坂が続く。この間に休憩所はなかったため、「大日寺」まであと2kmという入田町では、疲れ果てて路上の日陰にしゃがみこむ「お遍路さん」が沢山見られた。



お遍路さん

ある日、そういう「お遍路さん」の姿を見た同社社長の妻が、「雨露が凌げる休憩所を建てたらどんなにか喜ばれるのに。」とつぶやいた。これを聞いた社長は、幸いこの道路沿いに同社が所有する空地があったので、そこに休憩所を建てて、「お遍路さん」のお接待に取り組んでみようと考えた。

解体業である同社は、解体廃材が容易に入手できることから、廃材のリユース・リサイクルによる、地球環境に優しい休憩所とし、全国各地から、最近では海外からも訪れる「お遍路さん」に、環境問題をアピールすることにした。

早速準備に取り掛かり、平成16年5月、休憩所の建設が始まった。

柱や床の材料は解体した工場から、サッシや腰板は木造家屋から、ベンチや机等は寿司屋の店舗から流用し、時計や備品類も全て廃棄物で賄うなど、屋根を除いて全て廃材利用のリサイクルハウスとした。また、基礎は御影石を敷き詰めてアンカーを打ち、柱をボルトで固定し、床柱を床板として敷き詰め、耐震性を持たせた。



廃材利用の小屋組



お遍路さん休憩所「おやすみなし亭」完成

休憩所は、阿波弁で「お疲れ様、ゆっくりお休み下さい」という意味の優しい言葉“おやすみなして”から、「おやすみなし亭」と命名した。

最初の1年間は、社長の妻が中心となって、休日なしでお接待を続けた結果、「おやすみなし亭」を訪れた「お遍路さん」は延べ3千人以上、お礼の札は700枚に上った。この1年間の経験から、「お遍路さん」の気持ちが理解できるようになり、冷たい飲み物、温かい飲み物、果物等を提供すればさらに喜ばれることが分かった。

そこで、2年目のテーマは「お遍路さんお接待電力供給作戦」とし、友人や取引先の協力を得て、風力と太陽光を利用した2,500ワットのエコ発電施設を設置することにした。完成した青い風車「そよかぜくん」は、「おやすみなし亭」のシンボルとして話題となり、全国紙にも取り上げられた。



エコ発電施設「そよかぜくん」

3年目には、増加する「お遍路さん」の休憩場所を屋外にも確保しようと、藤棚を設けることにした。棚の支柱は不要となった角パイプ、ベンチはバスの待合室から廃棄されたものをリユースし、きれいに塗装した。そうして、次の年の春には、ピンクの藤の花が満開となり、甘酸っぱい香りとともに、大勢の「お遍路さん」を迎えられるようになった。



「おやすみなし亭」の藤棚

さらに5年目には、知人から贈られた桜の苗木を植えて、桜と藤の花で華やかな春を迎える準備が整った。冷蔵庫と扇風機の寄贈もあり、夏場は涼しい場所で、冷えた麦茶や水を提供できるようになった。また、日曜菜園で作ったみかんや桃、柿等の果物や、近所のお年寄りが差し入れてくれる手作りの巾着やお守りなど、お接待品も充実してきた。地図や宿泊案内等も、観光協会から入手して常備するようにした。



「おやすみなし亭」の内部

こうした努力の結果、「おやすみなし亭」は、今では四国一の「お遍路さん」お接待所としての評価を受けるまでに至った。この6年間で、「おやすみなし亭」を訪れた「お遍路さん」は3万人を超え、お礼のお札を貼ったノートは、現在18冊約6千人分となっている。

「お遍路さん」のお札の色は、巡礼回数が4回までが白、7回まで青、24回まで赤、49回まで銀、99回まで金、100回以上は錦となる。「おやすみなし亭」を訪れた人の巡礼回数の最高は208回で、ちなみに、1回約50日として計算すると10,000日以上、つまり28年間毎日お四国参りをしたことになる。



お札ノート

地元の入田中学校の生徒が、人権学習の一環として、「おやすみなし亭」のノートに記帳した「お遍路さん」の都道府県別の統計を毎年作成しているが、平成21年度は、全ての都道府県から訪れていることが分かった。また最近では、アメリカ・EU・韓国・インド・中国等、外国からの「お遍路さん」も増加しており、彼らのために英語の案内板も用意するようになった。

現在、四国4県が協調して、四国お遍路道を「世界文化遺産」に登録しようとする動きがある。現在のお遍路道を見ると、一部でごみの不法投棄が著しいなど、世界遺産認定までの道のりはまだまだ険しいだろう。しかし、「お遍路さん」へのお接待は、弘法大師入滅以来今日まで、1,100年以上の長きに渡り培われてきたもてなしの心であり、世界に誇るべき四国の文化である。



「おやすみなし亭」現況

同社は、「おやすみなし亭」での活動を通じて、地域の人々とともにこのお接待文化を守り、後世の人々に伝えていきたいと考えている。



入田小・中学校の学校新聞記事

3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、豪雨災害の復旧や防災支援を始め、各種催し等による住民とのふれあい、河川・道路清掃や植樹などの環境美化・保全、地域の防犯活動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 22 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 14 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	岡山県	(社)岡山県建設業協会 美作支部	台風 9 号による豪雨災害の応急復旧活動
A2-01	三重県	(社)三重県建設業協会 鈴鹿支部	土のう作成訓練の実施と土のう備蓄
A2-02	奈良県	(社)奈良県建設業協会 桜井支部	防災総合訓練への参加
A3-01	新潟県	(社)新潟県建設業協会 新津支部	土木出前講座「われら地球工作隊」の開催
A3-02	静岡県	(社)浜松建設業協会	親子現場見学会と重機試乗体験の開催
A3-03	静岡県	(社)天竜建設業協会	夏休み親子現場見学会の開催
A4-01	宮城県	(社)宮城県建設業協会 大崎支部	道路のクリーンキャンペーンの実施
A4-02	福島県	(社)福島県建設業協会 須賀川支部	清掃ボランティア活動への積極参加
A4-03	山口県	(社)山口県建設業協会 長門支部	長門の海岸清掃活動
A5-01	佐賀県	(社)伊万里建設業協会	「土木の日」の植樹活動
A7-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 下都賀支部	地域防犯パトロール活動
A7-02	京都府	(社)京都府建設業協会 京都支部	愛の献血運動
A7-03	熊本県	(社)熊本県建設業協会 荒尾支部	養護学校の祭り舞台製作
A8-01	群馬県	(社)群馬県建設業協会	除雪体制に関するアンケート調査と広報活動

(1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	岡山県	(社)岡山県建設業協会 美作支部	台風9号による豪雨災害の応急復旧活動

事例 A1-02 : 岡山県

台風9号による豪雨災害の応急復旧活動 ((社)岡山県建設業協会美作支部)

平成21年8月9日、岡山県を襲った台風9号による集中豪雨で、美作市では各所で道路法面が崩壊するとともに、土砂崩れや河川の氾濫が起こり、住宅の全半壊7棟（うち全壊5棟、1人死亡）、床上・床下浸水737棟など大きな被害を受けた。

岡山県建設業協会美作支部では、県及び美作市との災害協定に基づき、各社が緊急出動態勢を整え、夜を徹して管内のパトロールを行った。道路や河川の異常箇所を発見したら、直ちに支部を経由して県及び美作市に報告した。

翌10日からは、道路上の土砂の撤去、崩壊土の流出防止対策、河川の倒木処理、浸水家屋の土砂の撤去、家財の片付け等に、昼夜兼行で取り組んだ。



田原地区の家屋倒壊

その後、応急復旧が進み、被災地の状況が明らかになるにつれ、道路、河川、農地等の被害は約2,300カ所にも及ぶことが判明した。同支部の会員企業による応急復旧活動は、住民生活の安定と不安の解消に向けて、約1ヶ月半にわたり精力的に続けられ、自治体関係者はもちろん、地域住民からもたいへん感謝された。また、被害査定のための測量作業にも協力し、査定業務の早期完了に貢献した。

なお、同支部は、被災地の1日も早い復興を願って、義援金を贈っている。



土居地内の道路復旧作業

(2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	三重県	(社)三重県建設業協会 鈴鹿支部	土のう作成訓練の実施と土のう備蓄
A2-02	奈良県	(社)奈良県建設業協会 桜井支部	防災総合訓練への参加

事例 A2-01：三重県

土のう作成訓練の実施と土のう備蓄（社）三重県建設業協会鈴鹿支部

三重県建設業協会鈴鹿支部は、平成 15 年に鈴鹿建設事務所と「地震・津波・風水害等の緊急時における運用協定」を、平成 17 年には鈴鹿市と「緊急時における災害応急工事等に関する協定」を締結し、大雨・洪水等の警報発令時には、昼夜を問わず支部事務所に待機し、出動要請があれば直ちに対応できる体制を整えている。

平成 20 年度には、鈴鹿市が主催する「総合防災訓練」の中で、防災支援活動の一環として「土のう作成訓練」を実施した。続く平成 21 年度は、さらに訓練規模を拡大し、市職員・消防本部職員も参加して、合計 1,200 袋の土のうを作成した。作成した土のうは、備蓄場所の地区市民センターへ運搬し、併せて既に保管中の土のうの点検と、劣化部の補修を行った。土のうの一部は同支部の倉庫にも保管し、水害が予想される場合に、無償で提供することとしている。

「土のう作成訓練」は、参加各機関からも高く評価され、鈴鹿市では、次年度以降も定期的の実施したいとしている。



土のう作成訓練



土のう袋への砂詰め



土のうの備蓄場への運搬

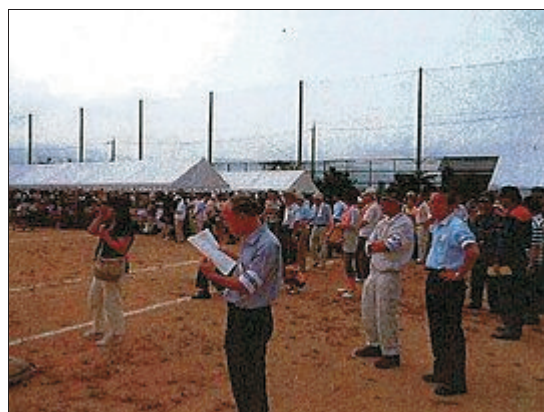
防災総合訓練への参加（(社)奈良県建設業協会桜井支部）

奈良県建設業協会桜井支部は、災害発生時に迅速かつ適切な防災活動が行える体制を確立するため、自治体が主催する防災総合訓練に積極的に参加している。

防災総合訓練は、奈良県及び橿原市の主催で毎年防災週間に開催され、地域住民や地元企業、消防、警察、自衛隊など多くの機関が参加する大規模な訓練で、災害時の迅速な防災活動と関係機関の連携確認、防災活動に関する技術の向上、県民の防災意識の高揚を図ることを目的としている。

平成 21 年度の訓練は、8 月 30 日、46 団体から約 770 人が参加して行われた。訓練項目としては、避難誘導・初期消火訓練、交通規制訓練、救出救助訓練、医療救護所設営訓練、重症患者搬送訓練、医薬品・血液緊急搬送訓練、給水・炊き出し訓練など、災害時に必要となるさまざまな活動が取り上げられた。

同支部は、「橿原市においてマグニチュード 7.5 の地震が発生し、土砂崩れにより県道の通行が遮断されている」との想定で、ユンボ 1 台、ダンプ 2 台、作業員 5 名を動員して障害物除去訓練を行った。これは、道路を封鎖していたガレキ・土砂などを、ユンボを使用してダンプに積み込んで搬出する訓練で、迅速かつ正確な作業により、速やかに緊急交通路を確保することができた。



奈良県防災総合訓練



防災総合訓練での障害物除去作業

(3) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	新潟県	(社)新潟県建設業協会 新津支部	土木出前講座「われら地球工作隊」の開催
A3-02	静岡県	(社)浜松建設業協会	親子現場見学会と重機試乗体験の開催
A3-03	静岡県	(社)天竜建設業協会	夏休み親子現場見学会の開催

事例 A3-01：新潟県

土木出前講座「われら地球工作隊」の開催（(社)新潟県建設業協会新津支部）

新潟県建設業協会新津支部は、平成10年より、毎年「土木の日」にちなんで、管内の早出川ダムで、土木出前講座「われら地球工作隊」を開催している。

これは、地元の小学生に、普段接することのない土木事業に興味を持ってもらおうと、新津地域整備部の協力のもとに始めた活動で、毎年1校ずつ、4年生～5年生を対象に、ダム施設の見学や建設重機の操作体験を行うものである。支部の青年部員が企画・運営し、重機の運搬、昼食の準備等にあたっている。

平成21年度は、9月17日の朝8時半から午後3時まで、五泉市立村松東小学校の4年生40人を招いて開催した。

子どもたちは、まず、洪水調節、特定灌漑用水、水力発電の三つの目的を持つ「早出川ダム」の施設を見学し、ダムの役割や、河川への影響について学んだ。次いで、近くの河川公園で、建設重機の操作体験を行い、建設工事を身近に感じてもらった。昼食時に用意した豚汁も好評で、和やかな雰囲気の中、子どもたちにとって思い出深い一日となった。



早出川ダムの施設見学



建設重機の操作体験



われら地球工作隊

親子現場見学会と重機試乗体験の開催（(社)浜松建設業協会）

浜松建設業協会では、地域住民に建設業の仕事と役割を理解してもらうため、平成12年より毎年、浜松市、湖西市及び新居町の小学生とその保護者を対象に、「親子現場見学会」を開催している。

第10回となる平成21年度は、10月31日、第二東名浜北高架橋工事の現場で開催した。当日は約90名の親子が参加して、事務所で工事の説明を受けた後、建設中の高架橋やインターチェンジ、サービスエリアを見学した。

高架橋の上を実際に歩いた参加者からは、「大きな工事を間近で見られてビックリ!」、「出来るのが楽しみ。開通したら通りたい。」などの声が上がった。

工事現場見学の後は、会員企業の資材置き場に場所を移して、建設重機の試乗体験を行った。この日はダンプカーやパワーショベル、ローラー車など7台が用意され、子どもたちはオペレーターの指導で、実際にレバーを操作して重機を動かした。特に、パワーショベルの掘る力には感激した様子で、「自分が強くなったみたい。」と喜んでいた。

当日は天気も良く、親子で建設業と触れ合う楽しい一日となった。

この見学会は、毎年楽しみにしているリピーターがいるほど、参加者からも好評であるが、同協会では、来年はさらにプログラムを充実させようと準備している。



第二東名浜北高架橋工事現場の見学



第二東名完成模型の見学



建設重機の試乗体験



児童から贈られた絵

夏休み親子現場見学会の開催（(社)天竜建設業協会）

天竜建設業協会は、地元の小・中学生とその父兄たちに、公共事業を身近に感じてもらい、社会資本整備の重要性・必要性を認識してもらうため、平成 17 年度より毎年、夏休み親子現場見学会を開催している。

平成 21 年度は、天竜区内の急傾斜地崩壊対策工事現場と、船明ダム、太田川ダムを見学した。

見学会の構成は、子どもたちの総合学習の一助となることを意識して企画されており、急傾斜地崩壊対策工事の現場では、土砂災害から生命・財産を守るための擁壁工事の必要性を学んだ。

また、船明ダムと船明発電所では、ダムによる水力発電の仕組みを学び、太田川ダムでは、治水・用水・環境目的としてのダムの重要性を学んだ。

それぞれの現場では、専門家から詳しい説明があり、これらの事業がいかに地域と密接に係わりがあるかを、参加者に理解してもらった。

このほかにも、道路の除草や清掃作業などの奉仕活動を毎年続けているなど、同協会の取組みは、地域住民からも高く評価され、感謝されている。

同協会は、これからも地域に根差して、地域住民と密接な関係を築き、地域住民のニーズに応じていくため、こうした活動を積極的に展開する方針である。



親子現場見学会



急傾斜地崩壊対策工事現場の見学



レベル操作体験



専門家からの詳しい説明

(4) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	宮城県	(社)宮城県建設業協会 大崎支部	道路のクリーンキャンペーンの実施
A4-02	福島県	(社)福島県建設業協会 須賀川支部	清掃ボランティア活動への積極参加
A4-03	山口県	(社)山口県建設業協会 長門支部	長門の海岸清掃活動

事例 A4-01 : 宮城県

道路のクリーンキャンペーンの実施 ((社)宮城県建設業協会大崎支部)

宮城県建設業協会大崎支部は、毎年8月の道路ふれあい月間に、全会員企業の参加のもと、「道路のクリーンキャンペーン」を実施している。

この活動は、地域環境の美化と道路愛護の普及啓発を目的に、昭和62年から毎年欠かさず行っている、同支部恒例のボランティア活動である。

平成21年度は、8月20日、会員企業30社より70人が参加して、管内の主要幹線道路16路線、総延長124kmを対象に実施した。参加者は、3~5人のグループに分かれ、約4時間にわたって道路沿いの空き缶やゴミを拾い集めた。合計610kgに上る回収ゴミは、分別して、市のクリーンセンターへ搬入した。

同支部は、今後もこうした活動を継続的に実施することで、安全で快適な道路環境を維持するとともに、地域の活性化につなげたいと考えている。



道路沿いのゴミ回収



道路法面のゴミ回収



回収ゴミのリサイクルセンター搬入

清掃ボランティア活動への積極参加（(社)福島県建設業協会須賀川支部）

福島県建設業協会須賀川支部は、須賀川市建設業者協議会と連携を図りながら、道路清掃活動をはじめ、さまざまなボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

■年度始め、道の日の道路清掃

毎年4月上旬、支部及び協議会の会員全社が参加して、管内の幹線道路の清掃活動を実施している。平成21年度は、道路脇の空き缶やゴミの回収のほか、ガードレールやカーブミラーの修繕、歩道の雑草除去などに取り組んだ。

新学期を迎えた子どもたちの通学路の安全確保と、市内を訪れる観光客をきれいな道路で迎えることを目的に始めたこの活動は、20年以上続いており、今では春の恒例行事として定着している。



年度始めの道路清掃

また、8月10日の「道の日」にちなんで、8月上旬にも同様な清掃活動を実施しており、夏の訪問客に対する須賀川市のイメージアップにつながっている。

■釈迦堂川花火大会への協力

お盆明けの土曜日に毎年開催される「釈迦堂川全国花火大会」は、県内外から約30万人の見物客が訪れる福島県でも最大規模の花火大会である。同支部及び協議会は、この大会運営に裏方として全面協力している。平成21年大会の当日は、会員全社が参加して、市民ボランティアと合同で交通誘導を行うなど、見物客の安全確保に努めた。翌日は、朝6時に会員企業から約50名が集まり、会場周辺に散乱した約1万発の花火殻の回収作業を行った。

同支部のこれらの活動には、市長自ら激励に訪れるなど、市民の期待も大きい。



釈迦堂川花火大会



打上げ花火殻の回収

長門の海岸清掃活動（社）山口県建設業協会長門支部

山口県建設業協会長門支部では、平成 18 年より毎年、長門市の「海岸清掃の日」に合わせて、海岸清掃活動を実施している。

国定公園に指定された長門の海岸は、変化に富んだ岸壁や砂浜が人気の観光スポットであるが、近年は、漂着ゴミが多く、海岸線が汚れてきた。そこで、長門市では、海水浴シーズンを前に美しい海岸を取り戻そうと、平成 18 年より、毎年 7 月に「海岸清掃の日」を設け、市民参加の一斉清掃を実施することにした。

平成 21 年の「海岸清掃の日」（7 月 13 日）には、市内 10 ヲ所の海岸で市民約 1,600 人による一斉清掃が実施された。同支部では、会員企業 26 社から 87 人が参加して、スキューバダイビングが楽しめる静ヶ浦周辺地域の清掃を行った。

参加者は、流木や海草類、漂着物などの大きなゴミはもちろん、ガラスの破片など小さくても危険なものは、全て取り除こうと、目を凝らして探し回った。

この日収集されたゴミは、可燃ゴミが約 13 トン、不燃ごみが約 1 トンに上り、安全できれいになった海岸線は、観光客やレジャー客の受入れ準備が整った。

長門市では、平成 18 年を「長門市環境保全元年」と定め、地域ぐるみで自然環境保護に取り組んでいる。同支部では、今後もこうした運動に積極的に参加することで、地域の環境美化に貢献し、建設業の存在もアピールしたいと考えている。



海岸清掃の参加者集合



「海岸清掃の日」市長挨拶



長門海岸静ヶ浦の清掃

(5) 環境保全活動

協会及び支部の環境保全活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	佐賀県	(社)伊万里建設業協会	「土木の日」の植樹活動

事例 A5-01 : 佐賀県

「土木の日」の植樹活動（(社)伊万里建設業協会）

伊万里建設業協会は、毎年11月18日の「土木の日」に合わせて、全会員企業が参加して植樹活動を実施している。

同協会による「土木の日」の奉仕活動は、平成2年から始まり、当初は、市内の河川敷・道路敷の草刈りや樹木の手入れ、カーブミラーの清掃などを行っていた。

平成13年からは、国見有料道路一帯の環境整備に切り替え、秋の紅葉シーズンに住民の憩いの場となる河畔公園に、紅葉樹木（カエデ）を植樹することにした。

平成19年には、植樹場所を「いまり夢みさき公園」に移し、以来、四季折々に花が楽しめるハナミズキ、モクレン、サザンカなどを毎年植えている。

同協会の植樹活動は、今では市の関係者も多数参加するなど、伊万里市の秋の恒例行事として定着しつつある。



「いまり夢みさき公園」の植樹



「いまり夢みさき公園」の植樹

(6) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A7-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 下都賀支部	地域防犯パトロール活動
A7-02	京都府	(社)京都府建設業協会 京都支部	愛の献血運動
A7-03	熊本県	(社)熊本県建設業協会 荒尾支部	養護学校の祭り舞台製作

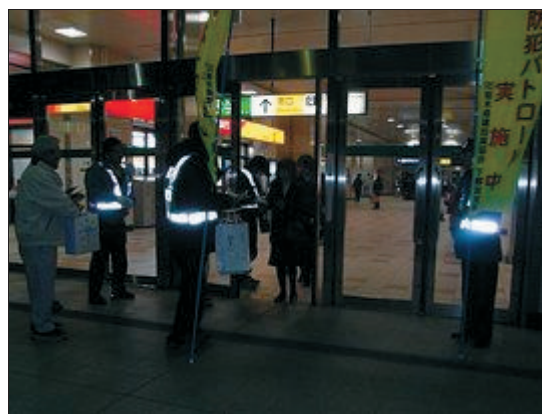
事例 A7-01：栃木県

地域防犯パトロール活動（(社)栃木県建設業協会下都賀支部）

栃木県建設業協会下都賀支部は、管内の犯罪防止を目的に、平成19年度より、年末の「地域防犯パトロール活動」を実施している。

平成21年度は、12月22日、支部と会員企業から約70人が参加して、5つの地区（栃木市都賀町、小山市野木町、下野市、壬生町、岩舟町・大平町・藤岡町）に分かれてパトロールを行った。参加者は、揃いの防犯メッシュチョッキ、防犯用帽子、腕章を着用して、駅周辺や繁華街などを歩き、学校帰りの高校生やサラリーマン、主婦などに、啓発用ポケットティッシュを配布しながら、盗難被害等への注意を呼びかけた。

栃木県では、平成17年に発生した女兒が犠牲となる痛ましい事件を契機として、地域の防犯意識が高まっている。栃木県建設業協会では、平成18年2月に、栃木県警察本部と「安全・安心のまちづくりのための覚書」を締結し、会員の社屋や現場事務所を、助けを求める人の緊急避難場所に提供したり、不審者、不審車両を発見した場合は早期通報するなど地域防犯活動を行ってきた。下都賀支部の防犯パトロールは、この活動を発展させたもので、地域全域に存在する会員のネットワークを活用した効果的な活動として、地域住民からも高く評価されている。



下都賀支部管内の防犯パトロール

愛の献血運動 (社) 京都府建設業協会京都支部

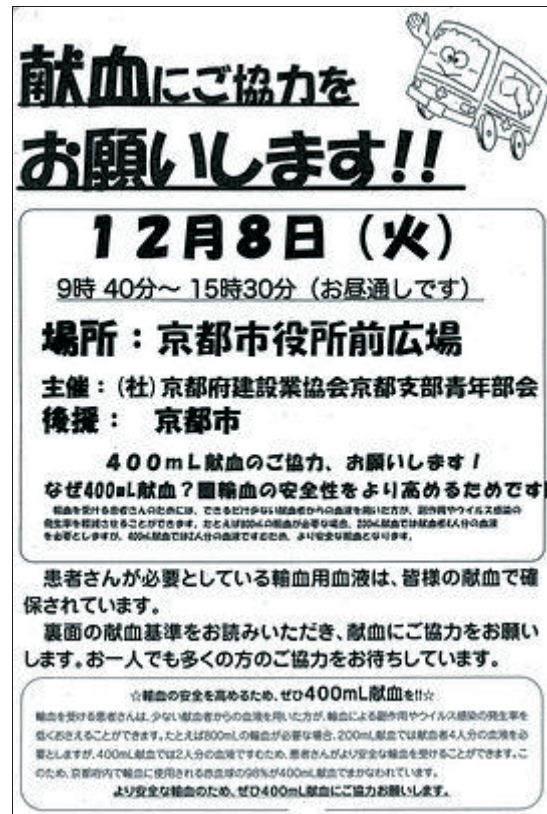
京都建設業協会京都支部では、昭和 57 年に、会員企業の若い経営者や将来の経営者たちによる青年部会を発足させ、社会貢献の一環として、毎年「愛の献血活動」を実施している。

「愛の献血活動」は、全国的に輸血用血液が不足している状況の中、できるだけ多くの人々に献血のきっかけを提供しようと始めた活動である。京都市の後援をいただき、業界関係者だけでなく一般市民にも呼びかけて、毎回 100 人前後の参加を得ている。

28 回目となる平成 21 年度は、12 月 8 日、京都市役所前広場で実施し、96 人が献血に協力した。

同支部青年部会の「愛の献血活動」は、長年の功績が称えられ、平成 15 年 10 月には日本赤十字社から金色有功章が授与され、平成 21 年 7 月には厚生労働大臣より感謝状が贈られた。

また、新聞紙面や広報誌でもたびたび紹介され、建設業のイメージアップにも寄与している。



献血にご協力をお願いします!!

12月8日(火)
9時40分～15時30分(お昼通しです)

場所:京都市役所前広場
主催:(社)京都府建設業協会京都支部青年部会
後援:京都市

400mL献血のご協力、お願いします!
なぜ400mL献血? 輸血の安全性をより高めるためです!

献血を受ける患者さんのために、できるだけ多い献血者からの血液を用いることが、感染やウイルス感染症の発生率を軽減させることができます。たとえは300mLの献血が必要ならば、200mL献血では献血者4人分の血液を必要としますが、400mL献血では2人分の血液です。そのため、患者さんがより安全な輸血を受けることができます。このため、京都府内で輸血に使用される献血者の90%が400mL献血でまわられています。より安全な輸血のため、ぜひ400mL献血にご協力をお願いします。

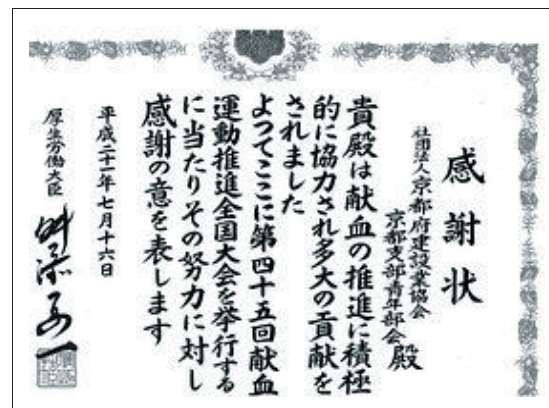
患者さんが必要としている輸血用血液は、皆様の献血で確保されています。
裏面の献血基準をお読みいただき、献血にご協力をお願いします。お一人でも多くの方のご協力をお待ちしています。

☆輸血の安全性を高めるため、ぜひ400mL献血を!!☆
献血を受ける患者さんは、少ない献血者からの血液を用いた方が、輸血による感染やウイルス感染症の発生率を低くおさえることができます。たとえは300mLの献血が必要ならば、200mL献血では献血者4人分の血液を必要としますが、400mL献血では2人分の血液です。そのため、患者さんがより安全な輸血を受けることができます。このため、京都府内で輸血に使用される献血者の90%が400mL献血でまわられています。より安全な輸血のため、ぜひ400mL献血にご協力をお願いします。

献血の案内



献血受付



厚生労働大臣からの感謝状

養護学校の祭り舞台製作 (社)熊本県建設業協会荒尾支部

熊本県建設業協会荒尾支部では、平成5年より、地元の県立荒尾養護学校が毎年10月に開催している「荒養まつり」で子どもたちが使用する舞台を、ボランティアで製作している。

平成21年度は、9月15日、会員企業から33人が参加して、長さ8メートル、幅4メートルの舞台を約4時間で完成させた。舞台の袖には手すりやスロープを設置して、子どもたちが安全に使えるように配慮した。

この舞台作りの参加者には、子どもたちの感謝が何よりの励みとなっており、同支部では、今後もこうした奉仕活動を通じて、地域社会に貢献していきたいと考えている。



「荒養まつり」の舞台製作参加者



「荒養まつり」の舞台製作



「荒養まつり」の舞台製作



(7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

協会及び支部の啓蒙・イメージアップ活動として、次の事例を紹介いたします。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A8-01	群馬県	(社)群馬県建設業協会	除雪体制に関するアンケート調査と広報活動

事例 A8-01：群馬県

除雪体制に関するアンケート調査と広報活動（(社)群馬県建設業協会）

群馬県建設業協会は、平成 21 年 11 月に「除雪体制に関するアンケート調査」を実施し、その結果を報道機関に公表して、広く国民に理解を求めた。

同協会は、県や市町村等と積雪時の除雪業務に関する協定を結んでおり、会員企業は近隣の路線を分担して受け持ち、積雪が予想される場合には、常に出動できる体制を整えている。しかし、群馬県では北部の一部山岳地を除き、極端な豪雪となったり、全く積雪がなかったりと、予測が立ちにくい状況で、待機の費用だけがかさんでいく場合が少なくない。



除雪作業

また、公共投資の削減の影響で、地元建設企業の倒産や廃業が相次いでおり、こうした企業が担当していた路線は、近隣企業で引き継ぐことになるため、各社の受持ち範囲は年々増加している。

調査では、除雪費用の不足、機械の老朽化と維持更新の困難さなどの問題も浮かび上がり、回答企業の 9 割以上が今後 3 年間で現状の体制を維持できなくなると考えていることが分かった。

今回の調査結果を報道機関に公表したところ、多くの一般紙が取り上げたほか、フジテレビ系番組「とくダネ！」で特集されるなど、大きな反響があった。



フジテレビ「とくダネ！」の特集

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域とのふれあい活動や、環境美化・保全活動、社会福祉活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成 22 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 21 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	北海道	(株)石山組	公園のイルミネーションツリー設置
B1-02	北海道	東星渡部建設(株)	「はたらく防災車大集合」のイベント実施
B1-04	鹿児島県	林建設(株)	親子森林体験活動の実施
B2-01	北海道	福中建設(株)	河川清掃と草刈り・植栽活動
B2-02	青森県	齋勝建設(株)	「小泊海岸を守る会」漂着ゴミ等回収活動
B2-03	岩手県	(株)小田島組	道路・水路の自主清掃活動
B2-04	長野県	吉川建設(株)	「りんご並木通り」の環境清掃活動
B2-05	静岡県	小笠原マル昇(株)	道路・河川里親制度による清掃活動
B2-06	兵庫県	(株)神和商事	不法投棄物の除去活動
B2-07	和歌山県	(株)小池組	地域清掃活動への積極的参加
B2-08	岡山県	藤田興業(株)	笹ヶ瀬川河川敷の清掃活動
B2-09	鹿児島県	(株)ヤマシタ	網掛川堤防のコスモス植栽活動
B3-01	秋田県	(株)菅与組	歩道の花壇整備と保全活動
B3-02	愛知県	角文(株)	ビオトープでのホタル放流と森林保全活動
B4-01	北海道	(株)早水組	小中学校のスケートリンク整備
B4-02	宮城県	(株)佐々貞土建	青色回転灯による地域防犯パトロール活動
B4-03	神奈川県	日栄建設(株)	小学校の砂場清掃除菌活動
B4-04	愛知県	藤城建設(株)	「献血クラブ」による献血活動
B4-05	兵庫県	福井建設(株)	子ども 110 番・地域安全パトロール活動
B4-06	沖縄県	(株)大興建設	沖縄そばが食べられる献血活動
B5-01	兵庫県	(株)柄谷工務店	就業体験「建設サマーセミナー」の開催

(1) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	北海道	(株)石山組	公園のイルミネーションツリー設置
B1-02	北海道	東星渡部建設(株)	「はたらく防災車大集合」のイベント実施
B1-04	鹿児島県	林建設(株)	親子森林体験活動の実施

事例 B1-01 : 北海道

公園のイルミネーションツリー設置 ((株)石山組)

(株)石山組は、自社の土木工事現場がある天塩町を明るく元気にしようと、平成21年12月、町内の「ミレニアムパーク」にイルミネーションツリーを設置した。

高さ約5メートルのツリーに沿って輝く白と青のLED電球は、雪上を幻想的に彩り、通りがかりのドライバーや、近隣住民の目を楽しませた。

また、同社はスポーツイベントの支援にも力を入れている。平成22年2月の天塩町民スキー大会では、駐車場入口と場内に職員を配置して、交通警備を行った。

これらの活動に対しては、天塩町長と教育委員会から感謝状が贈られている。

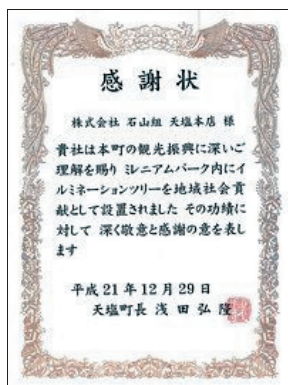
同社は、地域住民との交流を深め、工事への理解を深めてもらうために、今後も地域に密着した活動に積極的に取り組んでいく考えである。



ミレニアムパークのイルミネーションツリー



天塩町民スキー大会での交通警備



イルミネーションツリー設置の感謝状



天塩町民スキー大会協力への感謝状

「はたらく防災車大集合」のイベント実施（東星渡部建設(株)）

東星渡部建設(株)は、毎年8月に開催される釧路市最大のイベント「くしろ港まつり」に協力して、「はたらく防災車大集合」のイベント企画・運営を行っている。

「くしろ港まつり」では、釧路市街の歩行者天国を中心に、3日間にわたってさまざまなイベントが繰り広げられる。中でも「はたらく防災車大集合」は、普段はあまり見られない警察、自衛隊の車両や建設重機を間近に見られ、また体験乗車もできるので、子どもたちの人気を集めている。

同社は、平成19年より、このイベントの企画に全面協力するとともに、当日は、社員20名ほどが参加して、建設重機の会場への運搬、配置、誘導、お子様体験乗車などを担当している。

同社は、これからもこうした活動を通じて建設業と一般市民とのふれあいの場を設け、建設業の役割や技術をPRしていきたいと考えている。



「はたらく防災車大集合」案内



くしろ港まつりの「はたらく防災車大集合」



建設重機のお子様体験乗車

親子森林体験活動の実施（林建設(株)）

林建設(株)とその関連会社グループ「林和会」は、平成18年度から20年度にかけて、森林の役割について親子で学習・体験する「森林の体験活動」を実施した。

この活動は、地元小学生と保護者が参加して、楽しみながら森林の豊かさと役割を学ぶもので、参加者は3年間で延べ170名に上った。森林の役割についての学習のほか、平成18年度は樹木名当てゲームと松茸のこま打ち体験、19年度は除間伐体験、20年度は木工体験と木炭の窯出し体験などを行った。子どもたちにとって貴重な体験であり、保護者にとっても森林を見直す良い機会となった。



森林の役割について学習

鹿児島県では、県民の森林・林業に対する理解と、森林づくりへの積極的な参加を図るため、毎年「森林の体験活動支援事業」（環境税公募事業）を実施している。これは、県民が自ら企画し、実施する森林・林業に関する学習活動や体験・実践活動に対して経費支援を行う事業で、「林和会」の活動もその支援対象となっている。



間伐材による木工体験



木炭の窯出し体験



木炭の力を知る体験

(2) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の9事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-01	北海道	福中建設(株)	河川清掃と草刈り・植栽活動
B2-02	青森県	齋勝建設(株)	「小泊海岸を守る会」漂着ゴミ等回収活動
B2-03	岩手県	(株)小田島組	道路・水路の自主清掃活動
B2-04	長野県	吉川建設(株)	「りんご並木通り」の環境清掃活動
B2-05	静岡県	小笠原マル昇(株)	道路・河川里親制度による清掃活動
B2-06	兵庫県	(株)神和商事	不法投棄物の除去活動
B2-07	和歌山県	(株)小池組	地域清掃活動への積極的参加
B2-08	岡山県	藤田興業(株)	笹ヶ瀬川河川敷の清掃活動
B2-09	鹿児島県	(株)ヤマシタ	網掛川堤防のコスモス植栽活動

河川清掃と草刈り・植栽活動（福中建設(株)）

福中建設(株)は、地域への貢献を重視しており、毎年地元で行われる河川清掃や草刈り、植樹活動等に積極的に参加している。

平成 21 年度は、川下りなどを通じて川と親しむ「石狩川下覧権（くだらんかい）」活動の一環として、5月に奈井江大橋周辺の河川清掃に参加した。同じく5月には、岩見沢市主催の「第19回利根別川クリーン・グリーン作戦」に参加して、河川敷のゴミ拾いを行った。

また、「北海幹線景観管理支援活動」として、6月は岩見沢市から美唄市にかけての桜やナナカマド並木の草刈り、7

月はウォーキングコースの草刈りとハーブ植栽、8月は国道沿いのハーブ植栽地の草刈り、ゴミ拾いに参加して、地域の人々とともに汗を流した。

同社は、こうした環境美化活動の他にも、交通安全週間の街頭活動や、石狩川下覧権の川下り、北海幹線水路ウォーキング、北海道Eボート大会などの地域行事に積極的に参加するなど、地域とのふれあいを大切にしている。



下覧権河川清掃



利根別川クリーン・グリーン作戦



並木の下草刈り



ウォーキングコースのハーブ植栽



国道沿いハーブ植栽地草刈り

「小泊海岸を守る会」漂着ゴミ等回収活動（齋勝建設（株））

齋勝建設（株）は、毎年ゴールデンウィーク前の 4 月最終土曜日に、「小泊海岸を守る会」漂着ゴミ等回収活動を実施している。

同社は、北津軽郡中泊町（旧小泊村）の小泊漁港及び下前漁港の建設工事に長く携わった関係で、以前からボランティア活動として、これら漁港周辺の清掃活動を行ってきた。

平成 19 年度からは、CSR の観点から清掃活動を見直し、関連会社とともに「小泊海岸を守る会」を結成して、風光明媚な小泊海岸と、海岸沿いの竜泊ライン（国道 339 号）の清掃奉仕活動を実施することにした。

平成 21 年度は、総勢 160 人が参加し、車両 10 台、キャリヤー 4 台、ゲージ 18 個を配備して、①小泊マリンパーク周辺の漂流漂着ゴミ等の回収、②折腰内海岸～矢形石海岸（延長 6km）の漂流漂着ゴミ等の回収、③竜泊ライン夫婦岩～坂本台（延長 10 km）の道路周辺の放置ゴミの回収を行った。回収したゴミは 5.6 トンに上り、現地で分別した上で運搬し、即日最終処分した。

漂着ゴミの中でも、近年特に問題となっている廃ポリタンク等の処分に関しては、現地で専門業者に化学分析を依頼し、適正な処理方法を決定している。

同社の「小泊海岸を守る会」活動は、地元紙にたびたび取り上げられるなど、地域住民からも高く評価されており、平成 22 年 4 月には中泊町長より感謝状が贈られた。



矢形石海岸の漂着ゴミ回収



国道沿いのゴミ回収



廃ポリタンク液体の化学分析



回収ゴミの収集運搬

道路・水路の自主清掃活動（(株)小田島組）

(株)小田島組は、毎年、本社周辺の道路や農業用水路、また同社が所在する工業団地内道路の自主清掃活動を行うとともに、北上川一斉清掃や、和賀川河川敷の清掃にも継続的に参加している。

地域の自主清掃活動は、同社が豎川目工業団地に本社を移転した昭和 60 年から続けており、10 年ほど前からは、工業団地の一斉清掃に先立ち、特にゴミが目立つ雪解け時期の道路を対象に実施するようになった。

平成 22 年は、4 月 6 日に社員 12 人が参加して、同社近くの県道花巻和賀線 1 キロ余りの区間で、道路沿いの空き缶やゴミを拾い集めた。

また、最近では、北上市内だけでなく、工事を受注した地域やその周辺の道路でも、草刈りや枝払い、カーブミラーの清掃に積極的に取り組んでいる。

同社は、これからも清掃活動のエリアと機会の拡大を図って、地域の美化に貢献していく考えである。



県道花巻和賀線の清掃



農業用水路の草刈・清掃



国道沿いの清掃



カーブミラーの清掃



和賀川堤防の清掃

「りんご並木通り」の環境清掃活動（吉川建設(株)）

吉川建設(株)は、同社が進める環境活動の一環として、毎週月曜日に、地元飯田市の名所である「りんご並木通り」の歩道や分離帯の清掃活動を実施している。

この活動には、役員をはじめ各部署から毎回約 10 人が参加しており、年間では 480 人、平成 11 年の活動開始から延べ 5,300 人が参加したことになる。11 年間続く同社の清掃活動は、広く市民からも理解され、感謝されており、タバコの吸殻等のゴミが減少しているとの声も多く聞かれ、活動の成果が見えてきた。

また、同社松本支店でも月 2 回、支店周辺の国道 19 号線沿いの環境清掃を行っており、毎回約 10 人、年間約 240 人が参加している。

平成 17 年には、こうした活動が評価され、(社)日本道路協会より「道路功労者表彰」を授与された。

同社は、平成 13 年に環境 ISO14001 の認証を取得して以来、地域の環境美化活動にも積極的に参加している。

平成 14 年からは、毎年 5 月又は 6 月に開催される天竜川水系の環境美化キャンペーン「天竜川水系環境ピクニック」に、毎回約 30 人が参加している。

その他、各種協議会等による河川清掃や道路清掃、中央アルプス駒ヶ岳の美化清掃、木曾御嶽山の美化清掃等にも、毎年参加している。さらに、飯田市主催の「南信州いいむす 21」（地域ぐるみ環境 ISO 研究会）にも参加して、地域との交流を深めている。



「りんご並木通り」の清掃



「りんご並木通り」の清掃



松本市内の歩道清掃



「天竜川水系環境ピクニック」ゴミ回収

道路・河川里親制度による清掃活動（小笠原マル昇(株)）

小笠原マル昇(株)は、平成 15 年、社員が中心となって「段子（だんず）排水路を見守る会」を結成して、浜松市の道路・河川里親制度に登録し、段子北都市下水路の清掃活動に取り組んでいる。また、平成 19 年には、下水路に接する国道 257 号線の歩道についても里親として登録した。

里親としての活動区域は、浜松市北区初生町の国道 257 号線沿い約 650m の区間で、主な活動内容は、下水路については、捨てられた空き缶やゴミ類の収集、分別、処分、歩道については路面の清掃及び除草作業である。

平成 22 年は、3 月 20 日、「段子排水路を見守る会」のメンバーに地元の自治会からの参加者も加わり、総勢約 50 人で、下水路の中、歩道や隣接する林の中に散らばった空き缶やペットボトル、枯れ枝などを拾い集めた。

清掃中は、トラックに横断幕を張り、周辺にのぼり旗を立てて、道路や下水路の利用者に美化推進を訴えるとともに、清掃後には、道行く人々のモラル向上を期待して、歩道に活動状況の写真を掲示した。

「段子排水路を見守る会」の活動は、地域からも注目され、平成 18 年 9 月には、河川愛護活動の発展に貢献したとして、浜松市長より感謝状が贈られた。

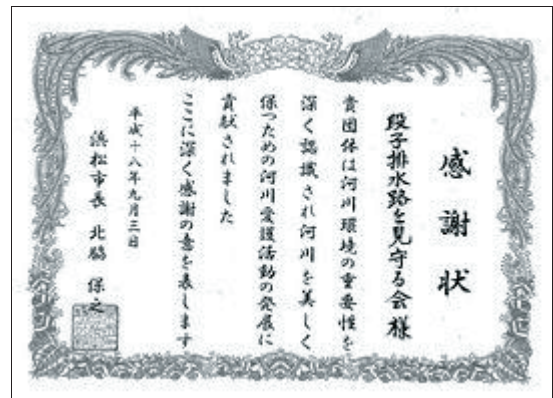
同社は、排水路の浄化と生態系の維持はもちろん、参加者及び地域住民の環境保全意識の向上につながる里親活動を、今後も積極的に進めていく考えである。



段子北都市下水路の清掃



「段子排水路を見守る会」参加者



浜松市長からの感謝状

不法投棄物の除去活動（(株)神和商事）

(株)神和商事は、平成 13 年度より、美しい地域づくりの一環として、道路、側溝などの清掃や不法投棄物の除去に取り組んでいる。

これは、自分たちが住む町を少しでも美しく、快適に過ごせるようにと始めた活動で、毎年 6 月に、社員約 20 人が参加して、三木市内の道路、側溝、河川敷等に捨てられたゴミを拾い集めている。林道や人通りの少ない場所に不法投棄された大型ゴミについては、重機を投入して回収・除去している。



道路わきの清掃



河川敷の清掃



林道の不法投棄ゴミ



不法投棄ゴミの回収

また、同社は、地元の「三木金物まつり」のバザーに、解体工事で集まった古物や日用雑貨品を出品し、収益金を福祉団体や市に寄付している。「三木金物まつり」は、三木市の伝統産品である金物をテーマとしたイベントで、毎年 20 万人近い来場者を集めている。

同社は、今後も地域の環境整備や福祉活動に、積極的に取り組んでいきたいと考えている。



「三木金物まつり」バザーへの出品

地域清掃活動への積極的参加（株）小池組

（株）小池組は、地域に根ざした企業として、地元和歌山で開催されるさまざまな清掃活動やイベントに積極的に参加するとともに、定期的に現場見学会を開催するなど、地域との交流に努めている。

地域清掃活動としては、7月の河川愛護月間に開催される「紀の川一斉清掃」

（国土交通省主催）に毎年参加している。平成21年度は、社員13人が参加して、市民スポーツ広場周辺の河川敷でゴミを拾い集めた。

また、毎年海水浴シーズン前に行われる海岸の「クリーンアップキャンペーン」

（和歌山県産業廃棄物協会主催）や、11月に和歌山市内各所で一斉に行う「一万人大清掃」（和歌山市主催）にも、社員とその家族が多数参加している。

地域とのふれあい活動としては、トンネル工事現場に近隣住民や学童を招いて現場見学会を開催し、道路・トンネル等の社会資本整備の必要性や、建設業への理解を深めている。

その他、地域の夏祭りやイベントにも積極的に参加・協力し、近隣住民との交流を深めている。

同社のこうした活動に対して、自治体や地元自治会からは、数多くの感謝状が贈られている。また、平成21年9月には、和歌山県で百年以上の功績がある企業に贈られる「百年企業表彰」を受賞した。



紀の川一斉清掃



浜の宮ビーチクリーンアップキャンペーン



和歌山市内の一万人大掃除

笹ヶ瀬川河川敷の清掃活動（藤田興業(株)）

藤田興業(株)は、平成10年より、毎年4月の第1土曜日に、地元岡山市の笹ヶ瀬川右岸河川敷の清掃活動を行っている。

この河川敷は、休日には、たくさんの家族連れが集まる憩いの場となるが、国道30号線の笹ヶ瀬橋の下にあたるため、自動車からのゴミのポイ捨てが多い場所でもある。また、右岸の土手には、数多くの桜が植えられているので、桜の時季には、お花見でたいへんな賑わいをみせ、多くのゴミがあちこちに散在する要因ともなっている。

同社の清掃活動は、この河川敷を市民に気持ちよく利用してもらいたいとの思いから始めたもので、毎年全社員が参加して、近隣住民とともに草むらの空き缶やペットボトル、投棄ゴミなどを拾い集めている。回収したゴミは、同社のトラックで焼却場に運搬するなど、地元企業としての積極的な取組みは、地域住民からたいへん感謝されている。

同社は、地域の良い環境を整えるため、これからも地域の人々と協力して、清掃奉仕活動の輪を広げていきたいと考えている。



笹ヶ瀬川右岸河川敷の清掃



笹ヶ瀬橋下の投棄ゴミの回収



回収ゴミの搬出

網掛川堤防のコスモス植栽活動 ((株)ヤマシタ)

(株)ヤマシタは、平成 10 年より毎年、地元の霧島市溝辺町を流れる網掛川の堤防約 1km にわたって、コスモスの植栽を行っている。

活動を始めた当時は、産廃の不法投棄問題や談合問題など、建設業にとってマイナスイメージを与える話題が多かった。同社は、そうしたイメージを払拭するために、率先して地域の美化に取り組もうと考え、地元の田園風景の中に郷愁を誘うコスモスの花を咲かせることにした。

コスモスの植栽場所としては、交通量の多い国道 504 号線に並行し、地域の人々の散歩コースにもなっている網掛川の堤防が最適と判断し、早速、県の河川管理課に相談したところ、快諾が得られた。

以来、毎年 7 月の土壌整備、種まき、8 月の除草作業を経て、9~10 月になると堤防沿いに一斉にコスモスの花が咲き誇るようになった。

最近では、刈り取った稲穂の「掛け干し」とコスモスの花をバックに、結婚式の記念撮影が行われるなど、コスモスの堤防として地域の人々に親しまれている。

また、コスモスといえば同社を連想する人も増えており、平成 18 年には、この植栽活動に対して、地元の河川愛護団体「溝辺町網掛川を守る会」から感謝状が贈られた。



網掛川堤防のコスモス種まき



咲き誇るコスモスの花



「溝辺町網掛川を守る会」からの感謝状

(3) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	秋田県	(株)菅与組	歩道の花壇整備と保全活動
B3-02	愛知県	角文(株)	ビオトープでのホタル放流と森林保全活動

事例 B3-01：秋田県

歩道の花壇整備と保全活動（(株)菅与組）

(株)菅与組は、本社前の歩道の緑地帯を花壇として整備し、毎年春と夏に季節の草花を植えて、道行く人々を楽しませている。今年で21年目となるこの花壇整備は、土づくりから始まり、時季に合った草花の選定、購入、植付け、水遣り、除草まで全てを、社員が業務時間を調整しながら分担して行っている。

また、毎年10月の全国労働衛生週間には、本社周辺の県道や市道沿い約4kmの区間で、クリーンアップ活動を実施している。14回目となる平成21年は、同社で就業体験中の地元の中学生4人も参加して、社員とともに汗を流した。

同社は、環境保全活動を安全衛生委員会活動に組み込んで社員に周知しており、平成12年には、秋田中央保健所長より「環境保全優良団体表彰」を受けている。



花壇の整備



花壇の花植え



花壇の完成



本社周辺道路のクリーンアップ

ビオトープでのホタル放流と森林保全活動（角文(株)）

角文(株)は、自社ビル前に整備したビオトープでのホタルの放流会や、毎年2回の森林保全活動など、環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

■ビオトープの整備とホタル放流

同社は、平成15年、創業140周年記念事業として、刈谷市の自社ビル前に、地域の子どものためのビオトープ「逢妻の郷」を整備した。平成17年からは、毎年春に地元の小学生を招いて、自社で飼育したホタルの幼虫の放流会を行っている。放流したホタルは5月末～6月初めには孵化して飛び始め、夕方になると地元の人々がたくさん集まって、淡い光が飛び交う様を楽しんでいる。



ビオトープでのホタル幼虫の放流

■環境学習

毎年6月の環境月間には、社員と近隣の小学生が逢妻川に集まり、水質調査、魚類採取、ゴミの分類調査など、川の環境学習を行っている。



逢妻川の環境学習

■水源の森づくり活動

同社が足助町に保有する約110haの森林で、平成17年より、毎年春と秋に「水源の森づくり活動」を実施している。これは、森林管理の実績がある地元企業との共同事業で、間伐、植林、下草刈り、シイタケ植菌などをボランティアで行う活動である。同時に、木工工作、自然観察など、子どもたちの環境学習の入り口としての役割も担っており、新聞でも紹介され、多方面から注目されている。



水源の森での間伐



間伐材へのシイタケ植菌

(4) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の6事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-01	北海道	(株)早水組	小中学校のスケートリンク整備
B4-02	宮城県	(株)佐々貞土建	青色回転灯による地域防犯パトロール活動
B4-03	神奈川県	日栄建設(株)	小学校の砂場清掃除菌活動
B4-04	愛知県	藤城建設(株)	「献血クラブ」による献血活動
B4-05	兵庫県	福井建設(株)	子ども110番・地域安全パトロール活動
B4-06	沖縄県	(株)大興建設	沖縄そばが食べられる献血活動

事例 B4-01 : 北海道

小中学校のスケートリンク整備 ((株)早水組)

(株)早水組は、平成21年11月、釧路管内で自社が施工中の工事現場近くにある浜中小・中学校のスケートリンク整備に、ボランティアで取り組んだ。

冬季スポーツの中でも特にスケート競技が盛んな釧路地域には、児童生徒用のスケートリンクが多く、毎年シーズン前には、学校関係者やPTAが多数参加して、たいへんな労力をかけてリンク造りを行っている。これを知った同社の現場担当者は、工事でお世話になっている地域の人々に喜んでもらえればと、重機を用いたリンク整備のお手伝いを申し出た。

整備作業は、コースでの草刈りから始まり、ブルドーザやタイヤショベルなどで整地した後、学校関係者やPTAも加わってスコップで丁寧にコースを整えた。建設業者のボランティア参加は、学校の広報誌にも紹介され、たいへん感謝された。

また、同社は、障害者の自立支援に取り組むNPO法人「ふれ愛」の活動に協賛して、平成17年より、協力会社とともに使用済み切手の収集活動を行っている。

これは、障害者がリハビリとして行う使用済み切手の切り取り作業に使ってもらおうと始めた活動で、平成21年7月には、4年間で集まった6kg相当の使用済み切手を寄贈し、関係者に非常に喜ばれた。



浜中小・中学校スケートリンクの整備



使用済み切手やリングプルの収集箱

青色回転灯による地域防犯パトロール活動（株）佐々貞土建

（株）佐々貞土建は、青色回転灯装着車による地域の防犯パトロールを行っている。

同社が所在する栗原市瀬峰地区は、JR瀬峰駅や大崎・登米方面への通過路線があるため、人々の往来も多く、不審者の出没や交通事故の発生が多い地域であった。同社は、この瀬峰地区の安全・安心の確保に少しでも役立ちたいと考え、長年独自にパトロール活動を行ってきた。

この活動は、平成18年には、宮城県建設業協会が推進する「子ども110番パトロール事業」に移行し、駐在所、防犯協会、小学校PTAとの連携のもと、子どもを狙った犯罪の防止に努めてきた。

平成21年9月には、同社のこうしたパトロール実績が評価され、瀬峰防犯協会の推薦で、宮城県警察本部より、犯罪抑止効果の大きい青色回転灯の装着許可を受けた。パトロール実施者としては、社長以下3名を登録した。

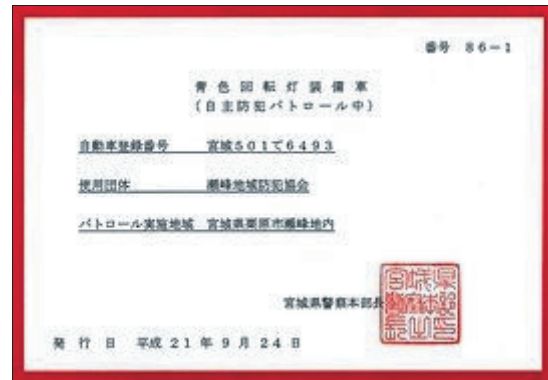
以後、青色回転灯装着車による地域の防犯パトロールを定期的実施するとともに、事件や不審者情報があれば、夜間でも緊急パトロールが実施できる態勢を整えている。

また、防犯だけでなく、交通安全週間の各種行事にも積極的に参加し、青色回転灯装着車による交通安全活動を行っている。

同社は、今後も青色回転灯を有効に活用してパトロールを継続することで、地域の安全・安心を確保していきたいとしている。



青色回転灯認定式



青色回転灯装備車の標章



パトロール車両



夜間パトロール出発

小学校の砂場清掃除菌活動（日栄建設(株)）

日栄建設(株)は、相模原市内の小学校の砂場で、砂の中のゴミや異物を取り除いて軟化し、除菌まで行う清掃除菌活動を実施している。

砂場は、子どもたちの自由な発想を呼び覚ます非常に優れた施設であるが、相模原市内の小学校の砂場については、以前から、安全衛生上の管理が不十分な箇所が多いといわれていた。同社は、この状況を改善して、子どもたちに安全に遊んでもらおうと、平成 19 年、自社の保有技術を活用して、市内の小学校の古い砂場を安全で衛生的な砂場に再生する「砂クリーン作戦」を開始した。

「砂クリーン作戦」は、砂場用の自走式清掃装置を用いて、固くなった砂地を耕して軟らかくしながら、小石、小枝、金属片などの異物を取り除き、植物性の洗浄剤による除菌・抗菌処理までを行なう活動である。同社は、これを砂場の清掃試験施工デモンストレーションと位置付けている。

平成 21 年度の「砂クリーン作戦」は、5 月 16 日に市内の 3 カ所の小学校で実施した。取り除いた異物はそれぞれバケツ 1 杯分となった。

実施した学校の関係者からは、子どもたちに安心して砂遊びをさせられるようになったとたいへん感謝されている。



砂場用自走式清掃装置による清掃除菌



取り除いた異物の分析



きれいになった砂場

「献血クラブ」による献血活動（藤城建設(株)）

藤城建設(株)は、社内に「献血クラブ」を結成し、30年以上にわたって献血活動を続けている。

同社では、昭和50年頃、従業員の家族の中で手術に必要な血液を確保しなければならぬ事態が発生し、その時多くの人々の協力が得られたことで、改めて献血の尊さを認識した。この出来事をきっかけに、昭和52年には、「献血クラブ」を結成して、血液が不足しやすい6月に、地元の赤十字血液センターにて集団献血を行う活動を開始した。昭和61年からは、400ml献血、成分献血を導入し、採血量も徐々に増えていった。

この献血活動は、同社の社会奉仕活動の一環として、その後も毎年続いており、同社の多年にわたる貢献に対して、平成3年7月には日本赤十字社より感謝状が、平成19年7月には金色有功章（献血団体）が贈られた。

平成21年6月には、創業100周年ということで、本社駐車場に採血車を招き、関係会社や取引業者にも呼びかけて、大規模な献血活動を行った。

同社は、今後も「献血クラブ」の活動を継続することで、血液の安定供給という社会的ニーズに答えるとともに、建設業界のイメージアップに寄与したいと考えている。



採血車の設置



献血受付



採血車での採血



日本赤十字社の金色有功章

子ども 110 番・地域安全パトロール活動 (福井建設(株))

福井建設(株)は、地域の安全・安心を確保するため、平成 18 年より、子ども 110 番活動と安全パトロール活動に取り組んでいる、

子どもが犠牲となる犯罪や事故が多発する中で、子ども 110 番活動は、子どもたちを直接保護するとともに、地域で厳しく監視しているという心理面での犯罪抑止効果が期待できる。同社は、現在、社用車 13 台に「子ども 110 番」、「地域安全パトロール中」のステッカーを貼って、定期的に地域の安全パトロールを実施している。



子ども 110 番パトロール車

また、平成 17 年より毎年数回、養父市役所と連携して、公共施設の美化活動を行っている。平成 21 年度は、市内の「養父市道」と「語らいの広場」の草刈り、清掃を行い、近隣の住民にたいへん喜ばれた。



地域安全パトロール中のステッカー

さらに、平成 18 年には、養父市内の建設業者 8 社で、災害発生時の応急対策業務を支援するための「養父市災害救援防止協会」を設立した。同協会は、平時においても、災害に備えたボランティア活動や防災訓練等を通じて、安全な街づくりに努めている。

その他、平成 19 年度からは、社内で募金活動を行って、毎年 1 回養父市に寄付している。平成 21 年度は、市を通じて岩手・宮城内陸地震の被災地に義援金として贈られた。



草刈りボランティア



社内募金の寄付

沖縄そばが食べられる献血活動（株）大興建設

（株）大興建設は、平成元年より毎年 2 回、本社駐車場において大規模な献血活動を実施しており、参加者には「沖縄そば」を提供することで話題となっている。

同社が献血活動を始めた当時は、地域の人々には「献血」に対する馴染みがなく、理解を得られない状況であった。しかし、趣旨に賛同した取引業者や協力会社の協力が得られて、とりあえず献血活動はスタートした。

ところが、開始当初は、献血日の前日は飲酒を控え、当日は朝食をしっかりと摂ることを参加者になかなか周知できず、特に朝食を摂らないため採血できない者が続出した。そこで、社員から、採血前に手作りの「沖縄そば」を食べてもらってはどうかとの提案があり、その年から社員による炊き出しを行うことにした。

社員手作りの「沖縄そば」は、沖縄一おいしい？と自負する味で、「年に 2 回しか食べられない幻のそば！」として地元情報誌にも取り上げられ、話題となった。

その結果、献血者の数は倍増し、今では年間約 600 人が参加する地域の一大イベントとして定着している。平成元年の開始から平成 22 年 4 月までの活動回数は 40 回、献血者数は延べ 9,919 人に上り、一企業の献血活動としては、回数、人数ともに県内最多を誇っている。

同社は、「献血は誰でもできる人助け」を合言葉に、今後も地域住民の理解と協力のもと、献血活動の輪を広げていきたいと考えている。



献血受付



採血車での採血



沖縄そばの提供



献血者 9000 人達成

(5) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

会員企業の啓蒙・イメージアップ活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-01	兵庫県	(株)柄谷工務店	就業体験「建設サマーセミナー」の開催

事例 B5-01：兵庫県

就業体験「建設サマーセミナー」の開催（(株)柄谷工務店）

(株)柄谷工務店は、平成 18 年度より毎年、夏休み期間中の学生のインターンシップ「建設サマーセミナー」を開催している。

これは、地域の高校生、大学生を対象に、現場実習を通じて建築技術を体験する機会を提供するもので、兵庫県建設業協会と連携して実施している活動である。

第 4 回となる平成 21 年度は、8 月 24 日～28 日の 5 日間、同社が神戸市で施工中の建築工事現場で開催され、工業高校生 4 名、大学生 8 名の計 12 名が実習生として参加した。実習生は、最初に安全教育を受けた後、足場の組立て・解体工事、左官工事、内装工事、重機操作などを体験した。

プロの職人たちの丁寧な指導によって、働くことの楽しさと充実感を味わえるこのセミナーは、参加者にたいへん好評で、学校関係者からも感謝されている。



現場実習（レベル出し）



現場実習（左官工事）



現場実習（内装工事）



教習所での重機操作体験

建設業の社会貢献活動を推進する協会ネットワーク

- | | | |
|---|---|---|
| <p>社団法人 全国建設協会
〒104-0032 東京都中央区八丁 2-2-5-1
TEL.03-3551-6396 FAX.03-3555-8218</p> <p>社団法人 北海道建設協会
〒060-0004 札幌市中央区北4条西3-1
TEL.011-261-6194 FAX.011-261-2305</p> <p>社団法人 青森県建設協会
〒030-0803 青森市中央2-9-13
TEL.017-722-7611 FAX.017-722-7617</p> <p>社団法人 岩手県建設協会
〒020-0873 盛岡市松原町17-9
TEL.019-835-6111 FAX.019-825-1782</p> <p>社団法人 宮城県建設協会
〒980-0824 仙台市青葉区宮原町2-48
TEL.022-382-2211 FAX.022-263-7059</p> <p>社団法人 秋田県建設協会
〒010-0951 秋田市山王4-3-10
TEL.018-823-5495 FAX.018-865-2306</p> <p>社団法人 山形県建設協会
〒980-0024 山形市高き町18-25
TEL.023-841-0328 FAX.023-841-7381</p> <p>社団法人 福島県建設協会
〒960-8051 福島市五月町4-25
TEL.024-321-0244 FAX.024-321-6513</p> <p>社団法人 茨城県建設協会
〒310-0062 水戸市大町3-1-22
TEL.029-221-5126 FAX.029-225-1158</p> <p>社団法人 栃木県建設協会
〒321-0833 宇都宮市塩瀬町1959-1
TEL.028-539-2611 FAX.028-539-2985</p> <p>社団法人 群馬県建設協会
〒371-0846 前橋市元郷社町2-5-3
TEL.027-252-1666 FAX.027-252-1993</p> <p>社団法人 埼玉県建設協会
〒336-8515 さいたま市南区南平塚4-1-7
TEL.048-861-5111 FAX.048-861-5376</p> <p>社団法人 千葉県建設協会
〒280-0024 千葉市中央区中央1-13-11
TEL.043-246-7624 FAX.043-246-9855</p> <p>社団法人 東京都建設協会
〒104-0032 東京都中央区八丁 2-2-5-1
TEL.03-3552-5655 FAX.03-3555-2170</p> <p>社団法人 神奈川県建設協会
〒231-0011 横浜市中区太田町2-22
TEL.045-201-8451 FAX.045-201-2767</p> <p>社団法人 山梨県建設協会
〒400-0031 甲府市及の内1-14-19
TEL.055-235-4421 FAX.055-233-9572</p> | <p>社団法人 新潟県建設協会
〒950-0965 新潟市中央区東1-3-17-101
TEL.085-21-9004 FAX.085-31-2166</p> <p>社団法人 長野県建設協会
〒990-0804 長野市南石堂町1230
TEL.026-228-7200 FAX.026-224-3061</p> <p>社団法人 岐阜県建設協会
〒500-8502 岐阜市藤田東1-2-2
TEL.058-273-3344 FAX.058-273-3138</p> <p>社団法人 静岡県建設協会
〒420-0857 静岡市東御幸町9-9
TEL.054-255-0234 FAX.054-255-5580</p> <p>社団法人 愛知県建設協会
〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21
TEL.052-242-4191 FAX.052-242-4194</p> <p>社団法人 三重県建設協会
〒514-0003 津市権太2-177-2
TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143</p> <p>社団法人 富山県建設協会
〒930-0084 富山市安住町13-14
TEL.076-432-5276 FAX.076-432-5579</p> <p>社団法人 石川県建設協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
TEL.076-242-1161 FAX.076-241-9258</p> <p>社団法人 福井県建設協会
〒910-0854 福井市徳善3-10-15
TEL.077-521-1184 FAX.077-27-3003</p> <p>社団法人 滋賀県建設協会
〒520-0801 大津市におの浜1-1-18
TEL.077-522-3232 FAX.077-522-7743</p> <p>社団法人 京都府建設協会
〒604-0944 京都市中京区神小幡通船場東入道町645
TEL.075-291-4161 FAX.075-241-3128</p> <p>社団法人 大阪建設協会
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30
TEL.06-6941-4821 FAX.06-6941-8787</p> <p>社団法人 兵庫県建設協会
〒651-2277 神戸市西区美多1-1-2
TEL.078-997-2300 FAX.078-997-2307</p> <p>社団法人 奈良県建設協会
〒630-8241 奈良市高天町5-1
TEL.042-22-3338 FAX.0742-23-9121</p> <p>社団法人 和歌山県建設協会
〒640-8282 和歌山市湊湊1丁北1-1-8
TEL.073-436-5611 FAX.073-436-2567</p> <p>社団法人 鳥取県建設協会
〒680-0022 鳥取市西2-3-10
TEL.0857-24-2281 FAX.0857-24-2283</p> | <p>社団法人 島根県建設協会
〒690-0048 松江市西藤島1-3-17-101
TEL.0852-21-9004 FAX.0852-31-2166</p> <p>社団法人 岡山県建設協会
〒700-0827 岡山市北区平利町5-10
TEL.086-225-4331 FAX.086-225-5388</p> <p>社団法人 広島県建設協会
〒730-0012 広島市中区上八丁堀9-23
TEL.082-511-1400 FAX.082-511-1431</p> <p>社団法人 山口県建設協会
〒753-0074 山口市中区4-5-16
TEL.083-922-0657 FAX.083-923-7101</p> <p>社団法人 香川県建設協会
〒760-0026 高松市東通町6-4
TEL.087-851-7919 FAX.087-821-4079</p> <p>社団法人 徳島県建設協会
〒770-0931 徳島市東田原2-10
TEL.089-823-3113 FAX.089-853-7609</p> <p>社団法人 愛媛県建設協会
〒790-0002 松山市二番町4-4-4
TEL.089-943-5324 FAX.089-933-0168</p> <p>社団法人 高知県建設協会
〒780-0870 高知市本町4-2-15
TEL.088-822-6181 FAX.088-823-5682</p> <p>社団法人 福岡県建設協会
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18
TEL.092-477-6731 FAX.092-477-6740</p> <p>社団法人 佐賀県建設協会
〒840-0041 佐賀市城内2-2-37
TEL.095-23-3117 FAX.095-24-9751</p> <p>社団法人 長崎県建設協会
〒850-0874 長崎市奥の町3-33
TEL.095-826-2285 FAX.095-826-2289</p> <p>社団法人 熊本県建設協会
〒962-0976 熊本市九品町4-6-4
TEL.096-366-5111 FAX.096-363-1192</p> <p>社団法人 大分県建設協会
〒870-0046 大分市西藤町4-26
TEL.097-538-4800 FAX.097-534-5828</p> <p>社団法人 宮崎県建設協会
〒980-0805 宮崎市橘通1東2-9-19
TEL.0985-22-7171 FAX.0985-23-6788</p> <p>社団法人 鹿児島県建設協会
〒960-8512 鹿児島市南池崎町6-10
TEL.099-257-9211 FAX.099-257-9214</p> <p>社団法人 沖縄県建設協会
〒901-2131 浦添市枕邊5-6-8
TEL.098-875-5211 FAX.098-870-4585</p> |
|---|---|---|

生活を守り
まちをささえる
建設業

社団法人 全国建設協会
47都道府県建設業協会



http://www.zenken-net.or.jp

2010年7月制作
無断使用・転載を禁止します。



建設業の
事業活動
と目標1

暮らしを創る

建設業は、道路、河川、公園などの公共事業を推進するとともに、住宅、学校・保育所など身近な施設を整備し、便利で快適な生活を創ります。

生活を守り まちをささえる建設業

日本列島は、地震、台風、豪雨等の常襲地帯であり、厳しい自然環境にあります。このように、自然災害が多発する我が国において、多くの国民の安全・安心な暮らしを確保するためには、防災・減災対策を一層推進するとともに、計画的な社会資本整備を進めることが必要です。
(社)全国建設業協会をはじめ、各都道府県建設業協会及び会員企業は、災害時における応急復旧活動をはじめ、地球環境問題への取り組み等、各地域で真摯に様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

これからも、豊かで安全な国民生活、国際競争力のある経済社会の実現のため、国民にとって真に必要な公共事業を推進し、社会資本の整備及び防災・減災対策の一層の推進に努め、国民生活の向上に貢献してまいります。



建設業の
事業活動
と目標2

災害から守る

日本は、地震、台風、豪雨など、災害の発生が多い国土です。建設業は被害を未然に防ぐとともに、迅速な復旧活動により、地域の安全・安心を守っています。

地域経済を支える

建設業で働く人々は全国に約500万人います。これは、全就業人口の約1割です。建設業は地域の雇用と経済を支えています。

建設業の
事業活動
と目標3



平成22年度
建設業社会貢献活動事例集
—生活を守り まちをささえる建設業—

平成23年4月

発行 社団法人 **全国建設業協会**
東京都中央区八丁堀2丁目5番1号
☎ 03(3551)9396(代表)
<http://www.zenken-net.or.jp/>

